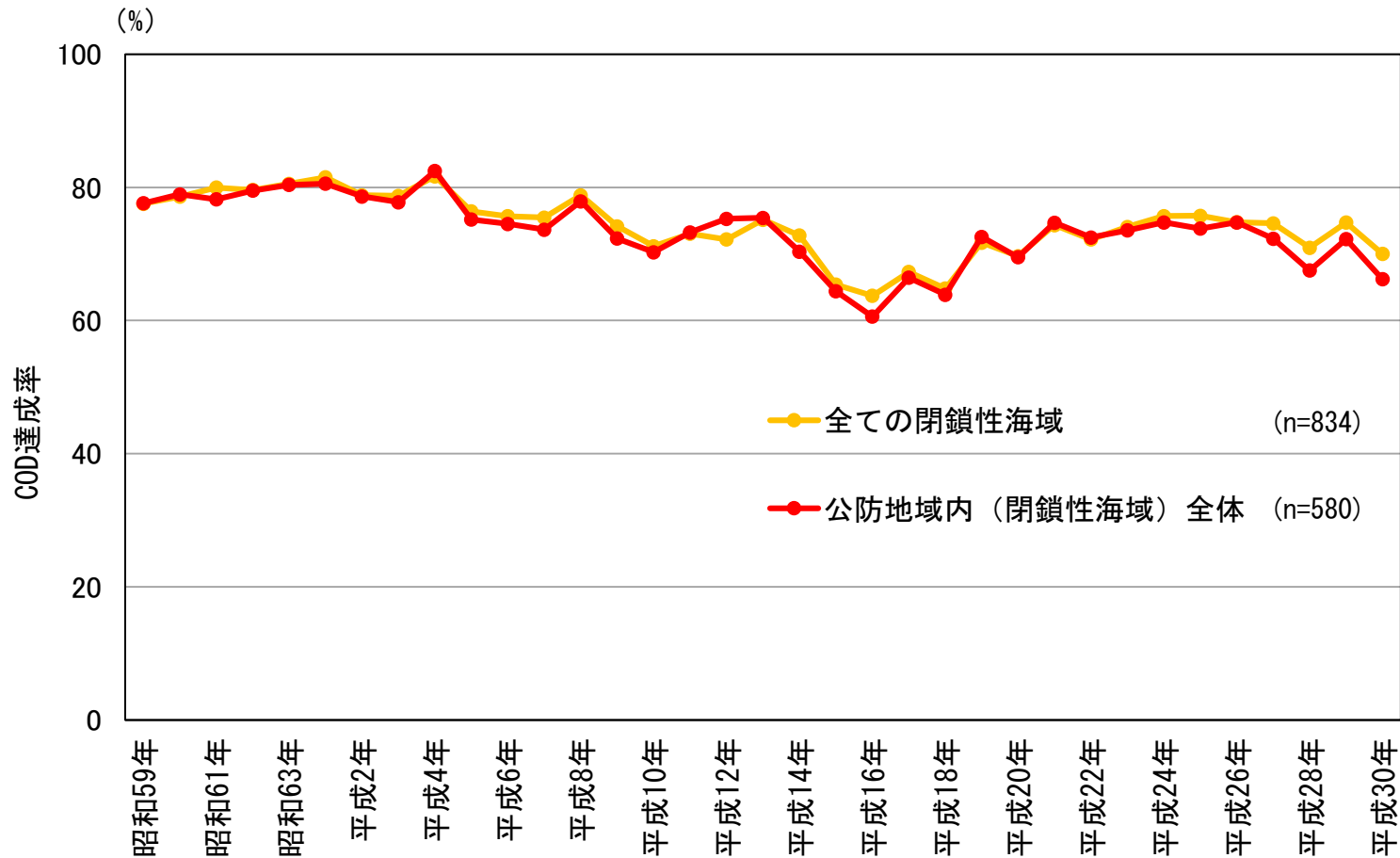


# 公害防止対策事業実施地域の 環境に関する状況について

令和2年10月

# 閉鎖性海域における環境基準の達成状況（COD）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域におけるCODの環境基準達成率は約60%～80%の間を推移しており、全ての閉鎖性海域における環境基準達成率との差は僅かにとどまる

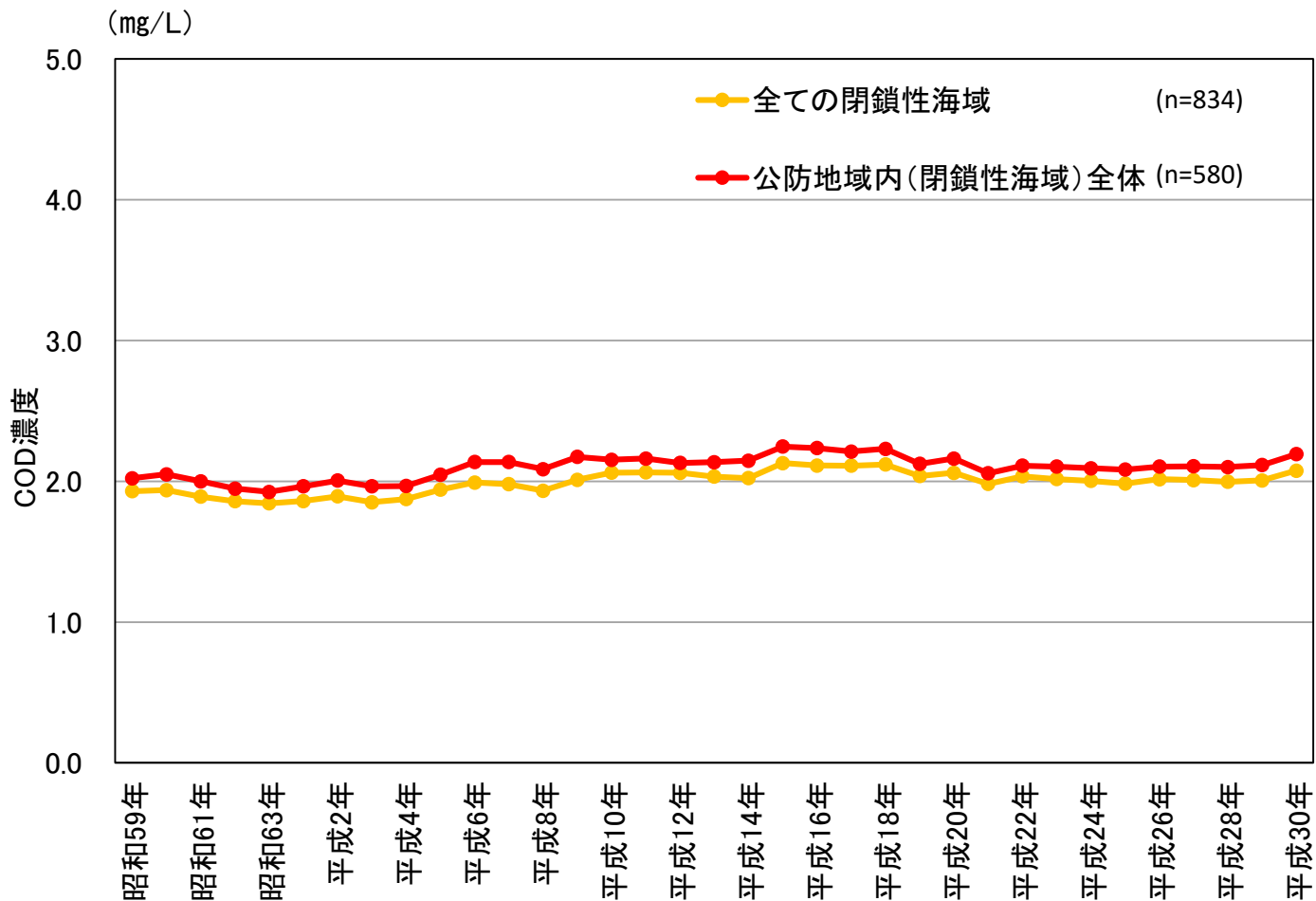


	環境基準
A類型	2 mg/L以下
B類型	3 mg/L以下
C類型	8 mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの  
 ※「公防地域内（閉鎖性海域）全体」には公害防止対策事業実施地域における閉鎖性海域を含む  
 ※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域における水質濃度の状況（COD）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域におけるCOD濃度は1.9mg/L～2.2mg/Lを推移しており、全ての閉鎖性海域におけるCOD濃度との差は僅かにとどまる



	環境基準
A類型	2 mg/L以下
B類型	3 mg/L以下
C類型	8 mg/L以下

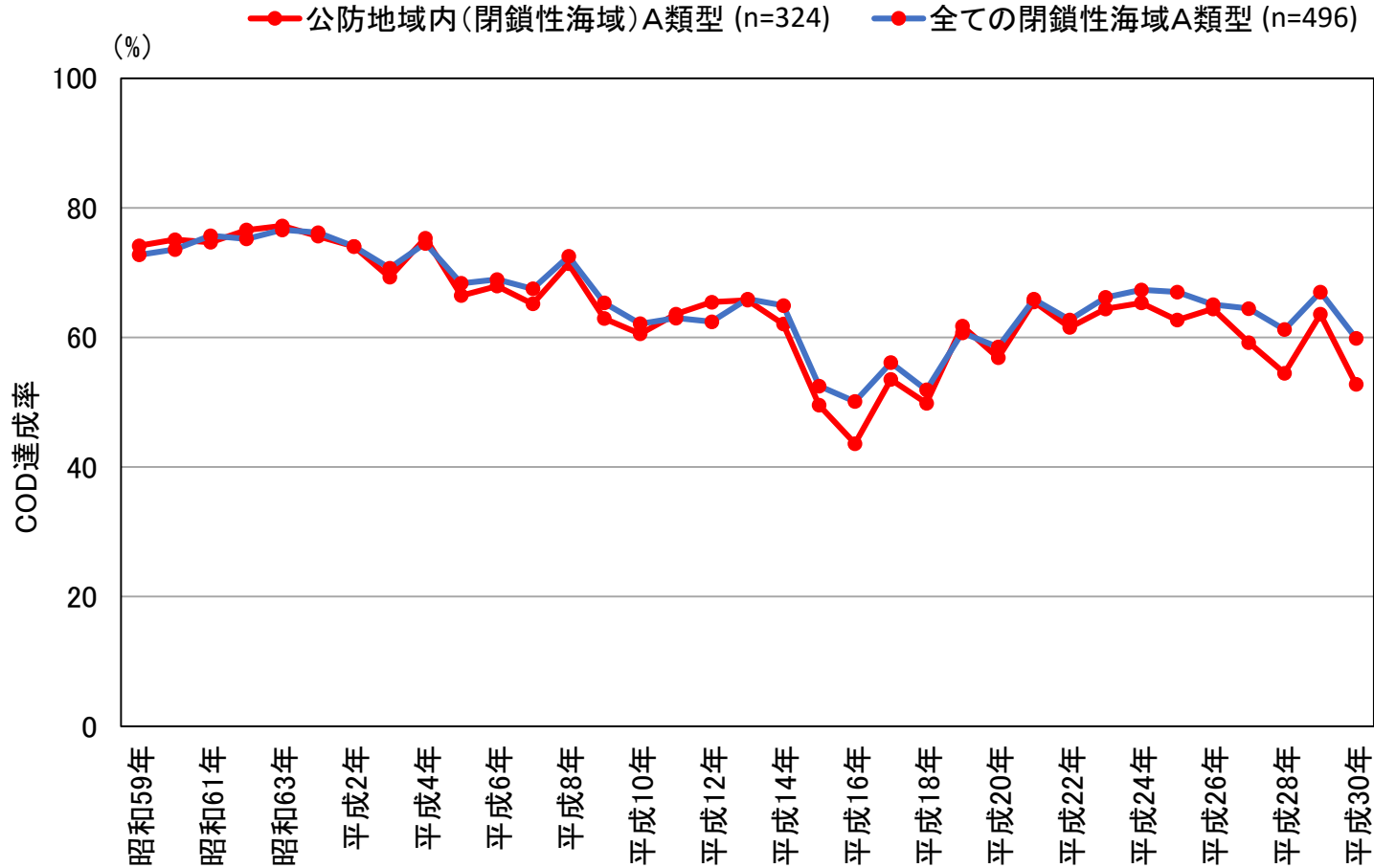
※グラフ内n値は平成30年度のもの

※「公防地域内（閉鎖性海域）全体」には公害防止対策事業実施地域における閉鎖性海域を含む

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（A類型）における環境基準の達成状況（COD）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（A類型）におけるCODの環境基準達成率は約40%～80%の間を推移している



	環境基準
A類型	2 mg/L以下
B類型	3 mg/L以下
C類型	8 mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

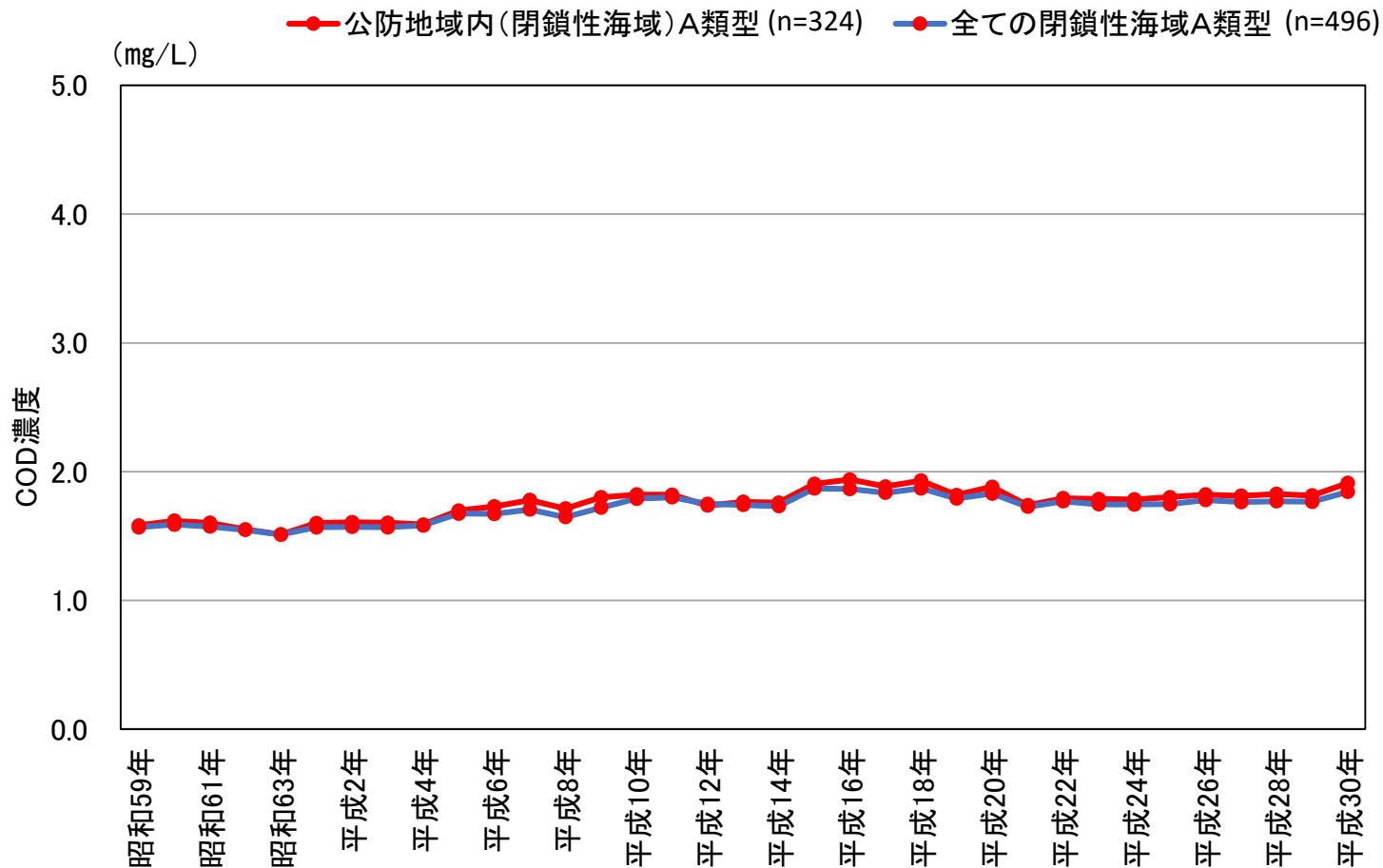
※「公防地域内（閉鎖性海域）A類型」には公害防止対策事業実施地域におけるA類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（A類型）における水質濃度の状況（COD）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（A類型）におけるCOD濃度は2.0mg/L未満を横ばいに推移している



	環境基準
A類型	2 mg/L以下
B類型	3 mg/L以下
C類型	8 mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

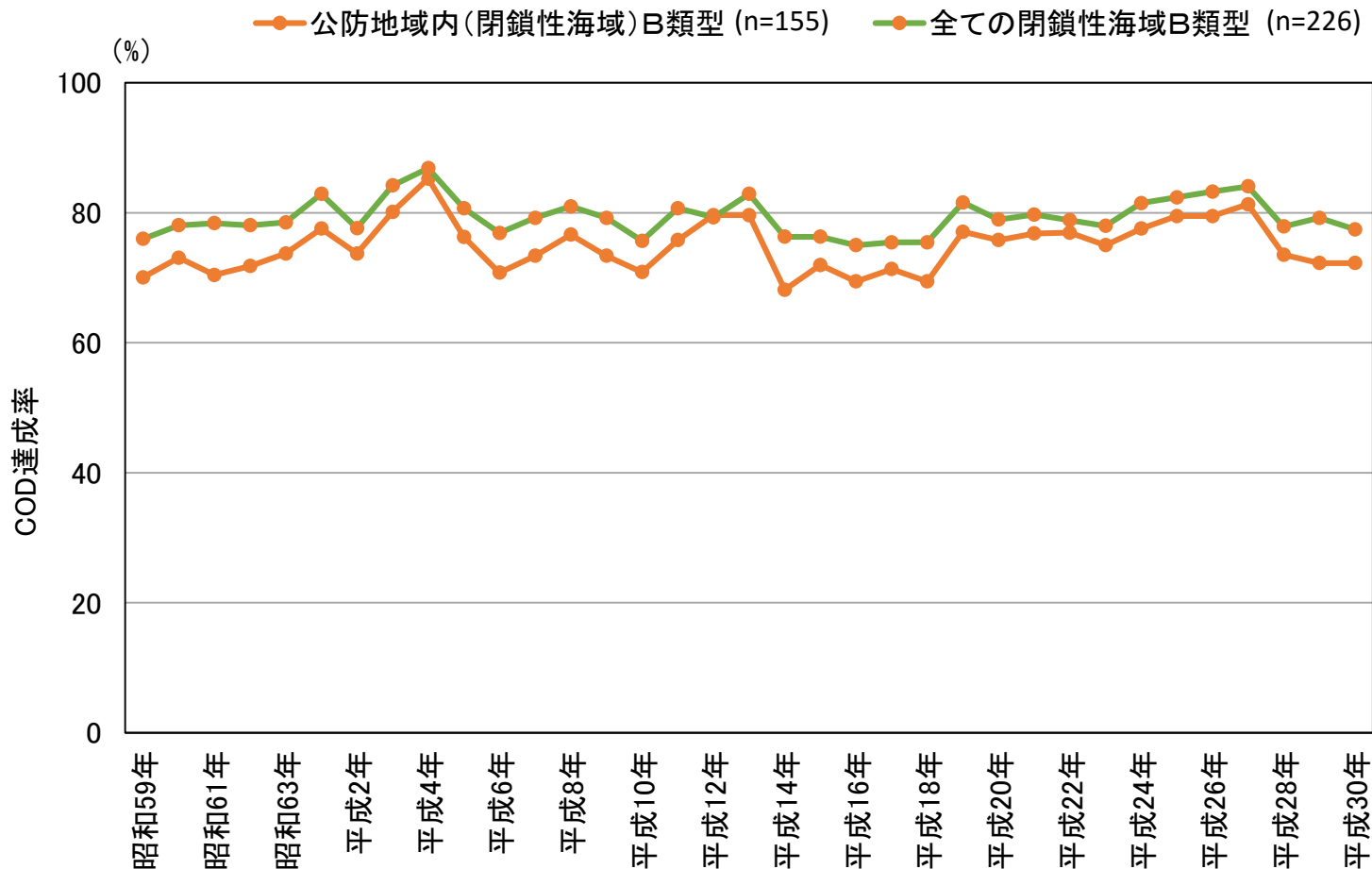
※「公防地域内（閉鎖性海域）A類型」には公害防止対策事業実施地域におけるA類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（B類型）における環境基準の達成状況（COD）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（B類型）におけるCODの環境基準達成率は約70%～80%の間を推移している



	環境基準
A類型	2 mg/L以下
B類型	3 mg/L以下
C類型	8 mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

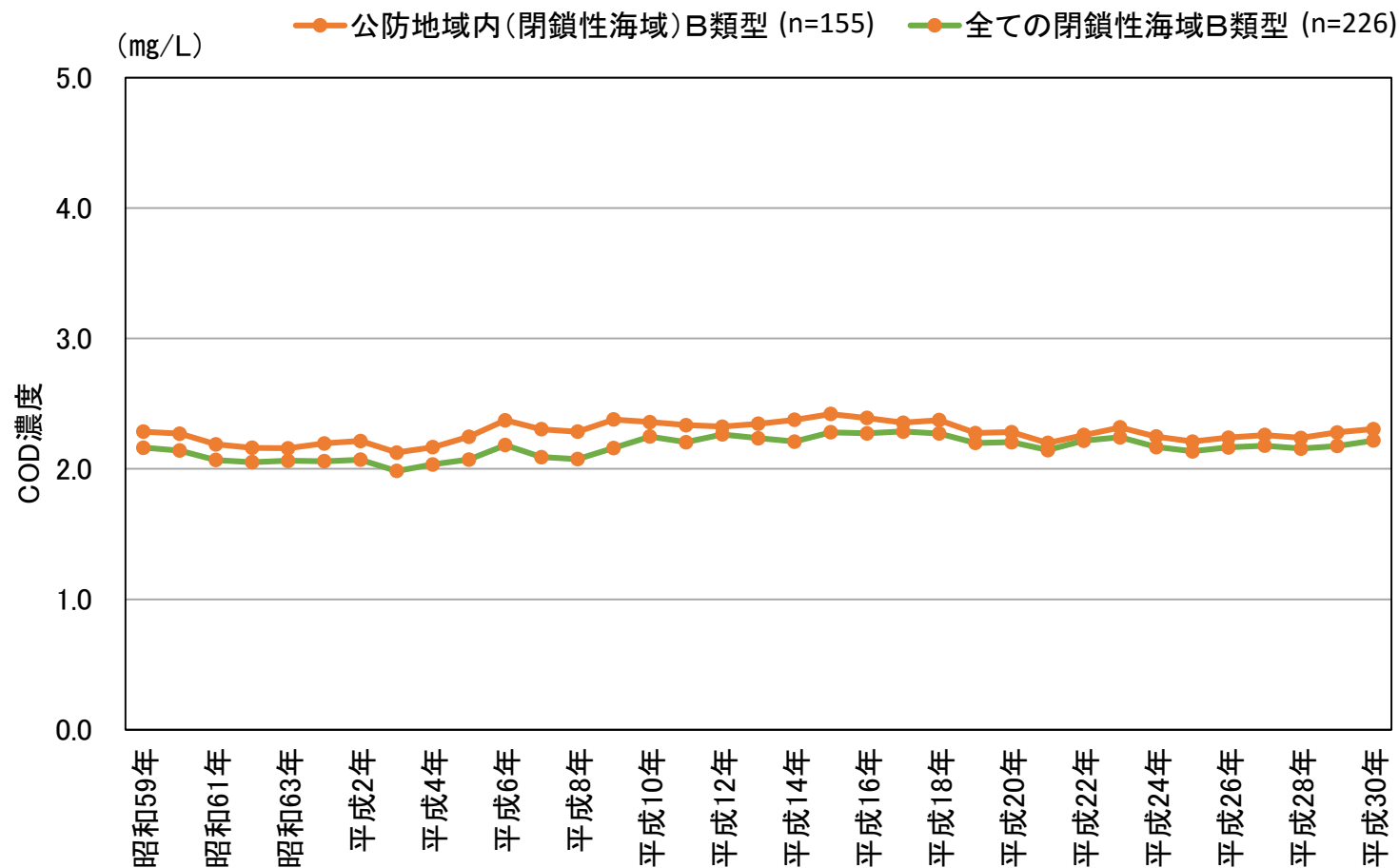
※「公防地域内（閉鎖性海域）B類型」には公害防止対策事業実施地域におけるB類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（B類型）における水質濃度の状況（COD）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（B類型）におけるCOD濃度は2.5mg/L弱を横ばいに推移している



	環境基準
A類型	2 mg/L以下
B類型	3 mg/L以下
C類型	8 mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

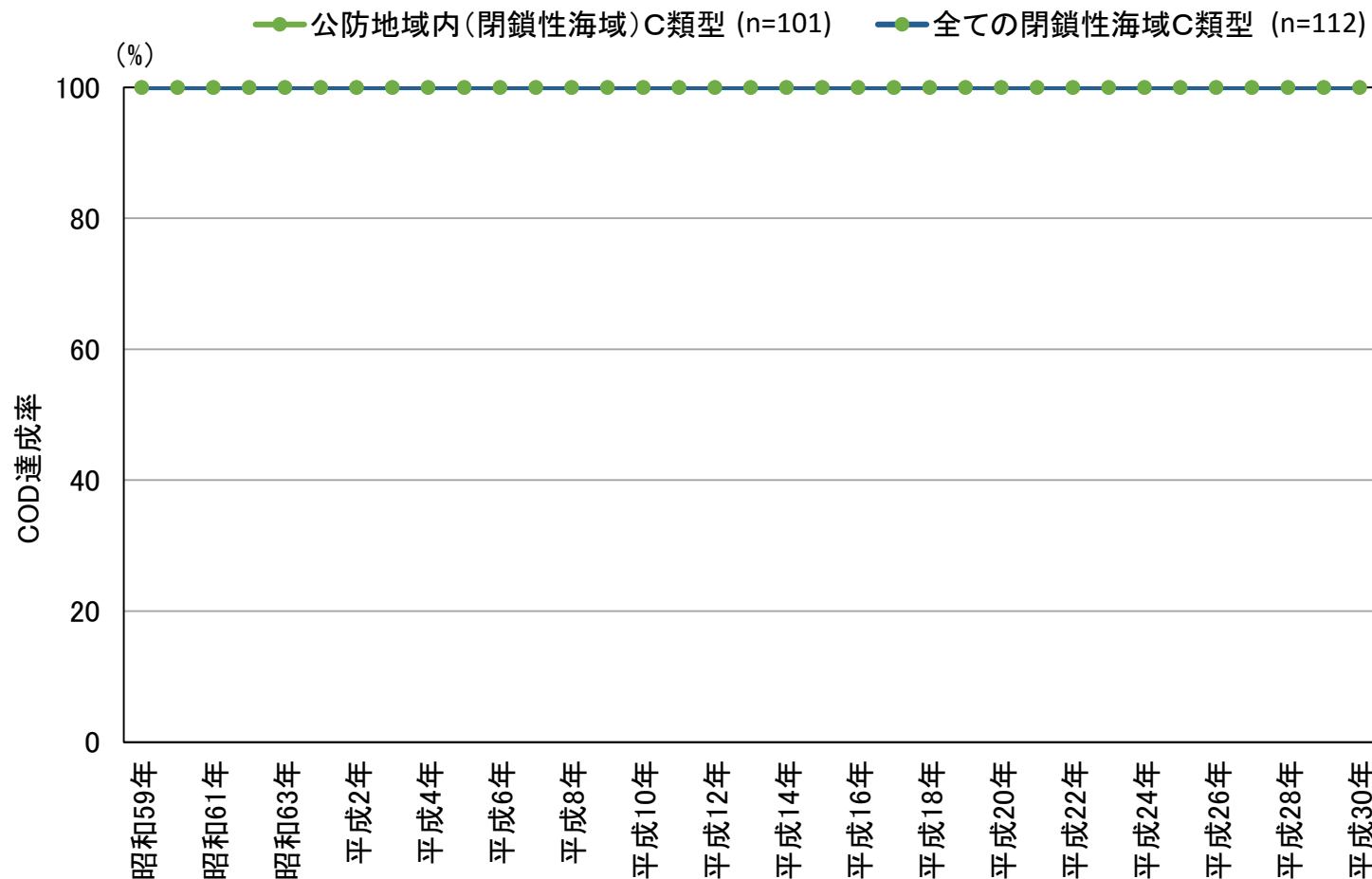
※「公防地域内（閉鎖性海域）B類型」には公害防止対策事業実施地域におけるB類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（C類型）における環境基準の達成状況（COD）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（C類型）におけるCODの環境基準達成率と、全ての閉鎖性海域（C類型）における環境基準達成率は、ともに全ての期間で100%となっている



	環境基準
A類型	2 mg/L以下
B類型	3 mg/L以下
C類型	8 mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

※「公防地域内（閉鎖性海域）C類型」には公害防止対策事業実施地域におけるC類型の閉鎖性海域を含む

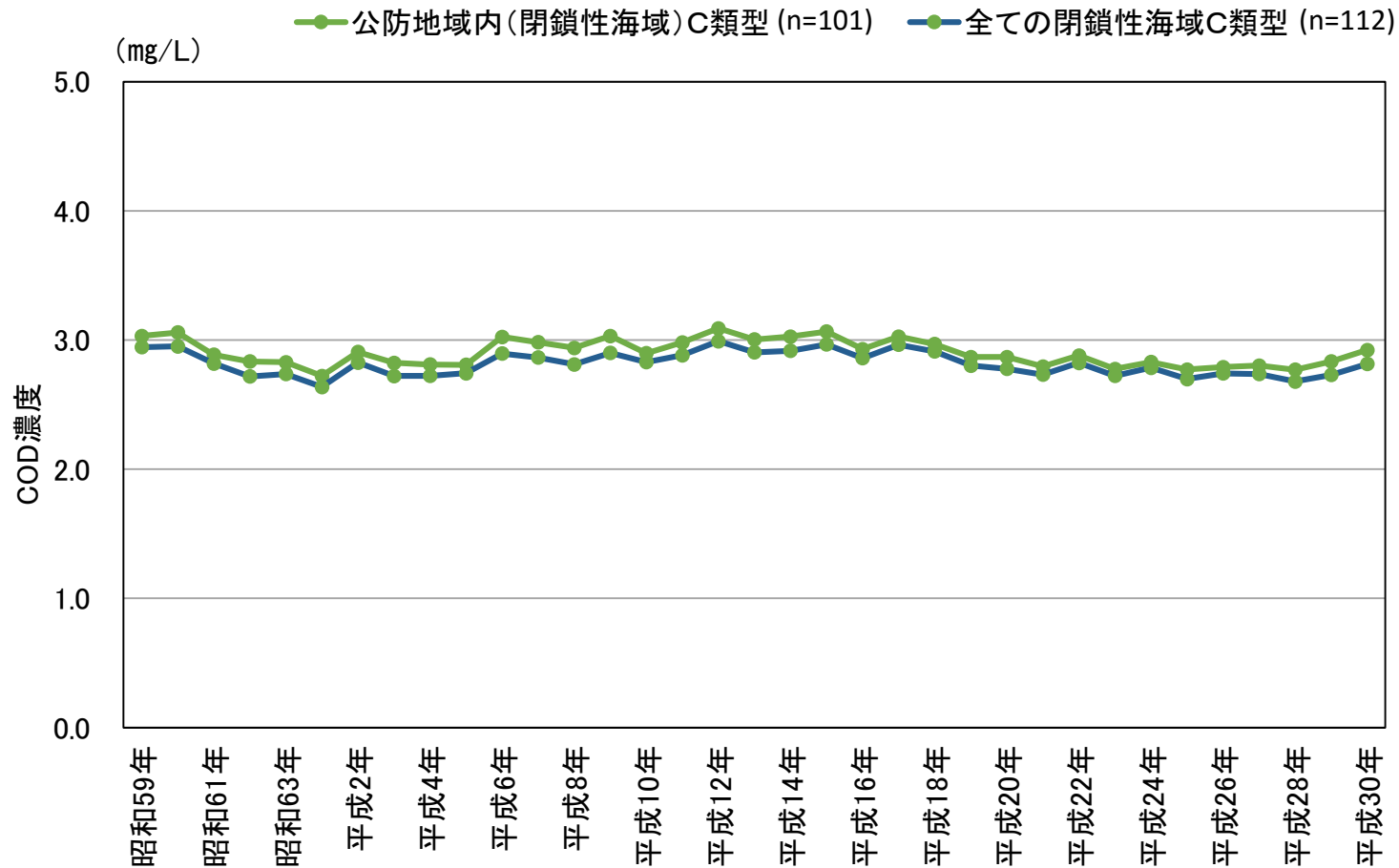
※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照



# 閉鎖性海域（C類型）における水質濃度の状況（COD）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（C類型）におけるCOD濃度は3.0mg/L弱を横ばいに推移している



	環境基準
A類型	2 mg/L以下
B類型	3 mg/L以下
C類型	8 mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

※「公防地域内（閉鎖性海域）C類型」には公害防止対策事業実施地域におけるC類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 主な閉鎖性海域における水質の状況（COD）

○ 主な閉鎖性海域におけるCODの環境基準達成率と濃度は以下の通りとなっている（平成30年度）

	類型	地点数	環境基準達成率	平均濃度（COD）	環境基準値
東京湾	A	8	13%	2.1mg/L	2mg/L
	B	23	39%	2.8mg/L	3mg/L
	C	18	100%	3.2mg/L	8mg/L
	計	49	57%	2.9mg/L	
伊勢湾	A	11	0%	3.2mg/L	2mg/L
	B	10	20%	3.2mg/L	3mg/L
	C	11	100%	3.9mg/L	8mg/L
	計	32	41%	3.4mg/L	
瀬戸内海	A	283	55%	1.9mg/L	2mg/L
	B	101	79%	2.3mg/L	3mg/L
	C	56	100%	2.9mg/L	8mg/L
	計	440	66%	2.1mg/L	
瀬戸内海 (大阪湾を除く)	A	272	57%	1.8mg/L	2mg/L
	B	95	80%	2.3mg/L	3mg/L
	C	45	100%	2.8mg/L	8mg/L
	計	412	67%	2.0mg/L	
大阪湾	A	11	9%	2.5mg/L	2mg/L
	B	6	67%	2.8mg/L	3mg/L
	C	11	100%	2.9mg/L	8mg/L
	計	28	57%	2.7mg/L	

※『水環境総合情報サイト』参照

## 閉鎖性海域以外の海域における環境基準の達成状況（COD）

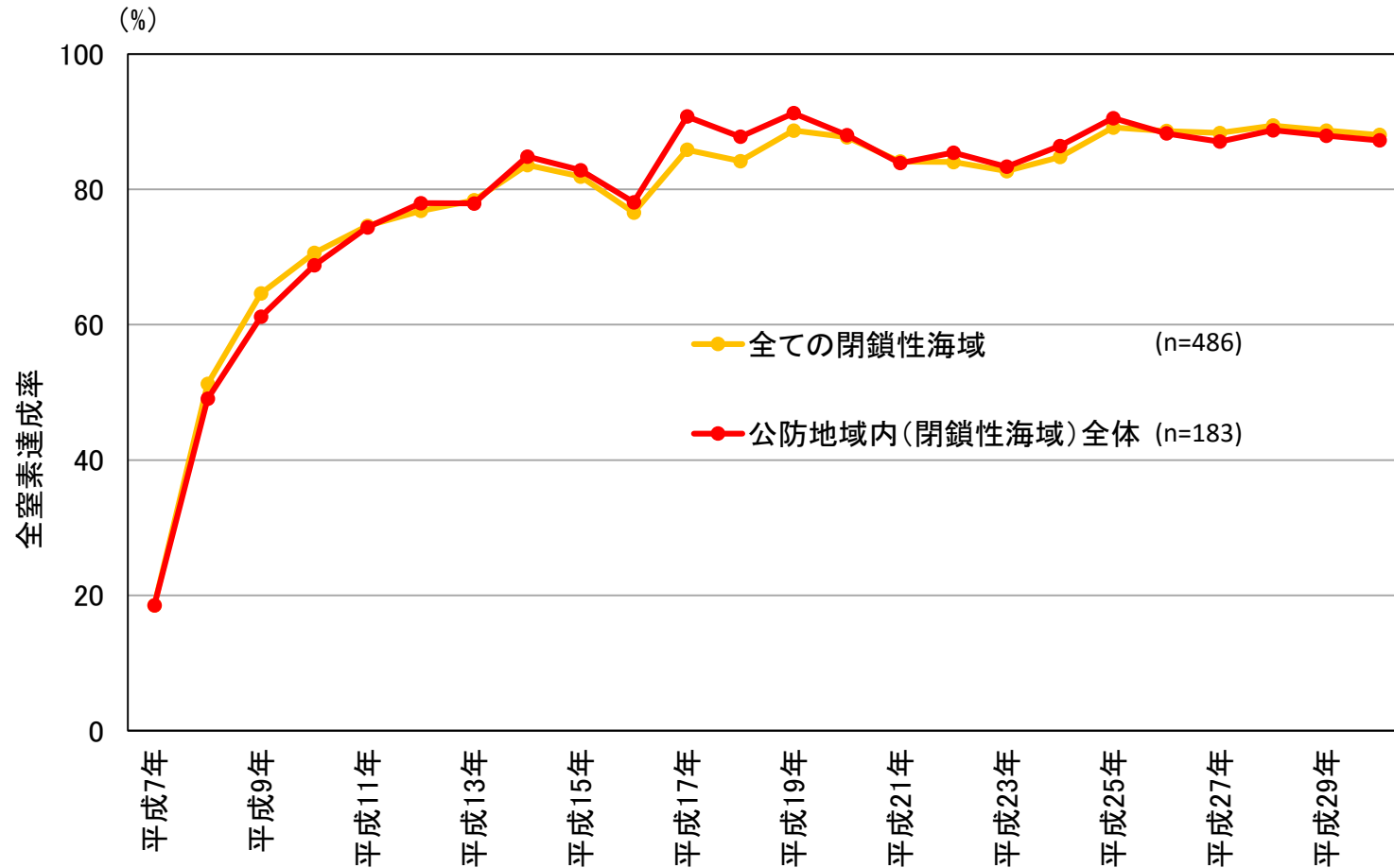
- 公害防止対策事業に係る閉鎖性海域以外の海域（鹿島港及び新潟県沖）におけるCODの環境基準達成率と濃度は以下の通りとなっている（平成30年度）

	類型	地点数	環境基準達成率	平均濃度（COD）	環境基準値
鹿島港	A	0	-	-	2mg/L
	B	0	-	-	3mg/L
	C	2	100%	1.8mg/L	8mg/L
	計	2	100%	1.8mg/L	
新潟県沖	A	6	17%	2.0mg/L	2mg/L
	B	2	50%	2.6mg/L	3mg/L
	C	0	-	-	8mg/L
	計	8	25%	2.2mg/L	

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域における環境基準の達成状況（全窒素）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域における全窒素の環境基準達成率は、19%（平成7年）から87%（平成30年）まで改善しており、全ての閉鎖性海域における全窒素の環境基準達成率との差は僅かにとどまる



	環境基準
I類型	0.2mg/L以下
II類型	0.3mg/L以下
III類型	0.6mg/L以下
IV類型	1mg/L以下

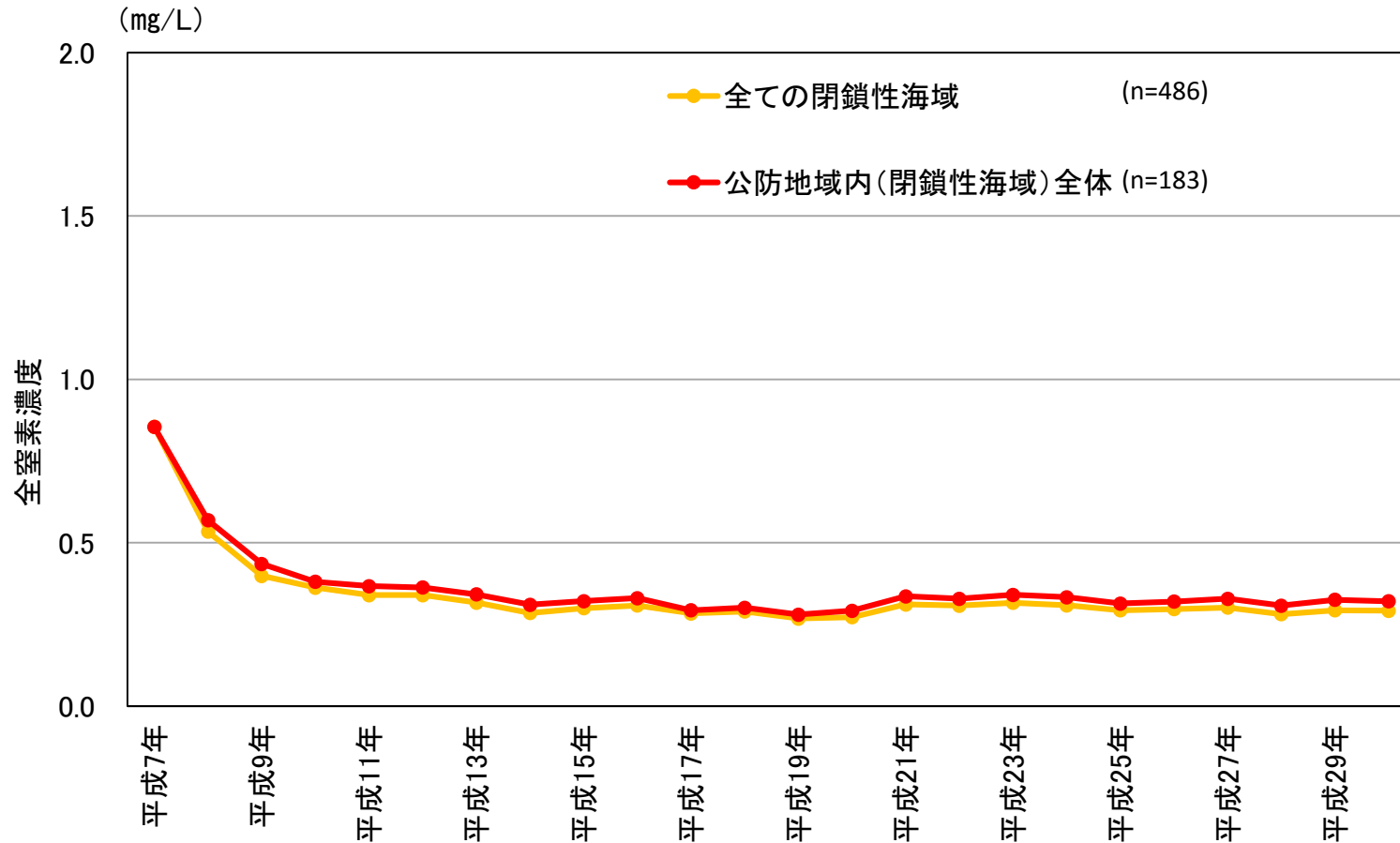
※グラフ内n値は平成30年度のもの

※「公防地域内（閉鎖性海域）全体」には公害防止対策事業実施地域における閉鎖性海域を含む

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域における水質濃度の状況（全窒素）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域における全窒素濃度は、0.85mg/L（平成7年）から0.32mg/L（平成30年）まで改善しており、全ての閉鎖性海域における全窒素濃度との差は僅かにとどまる

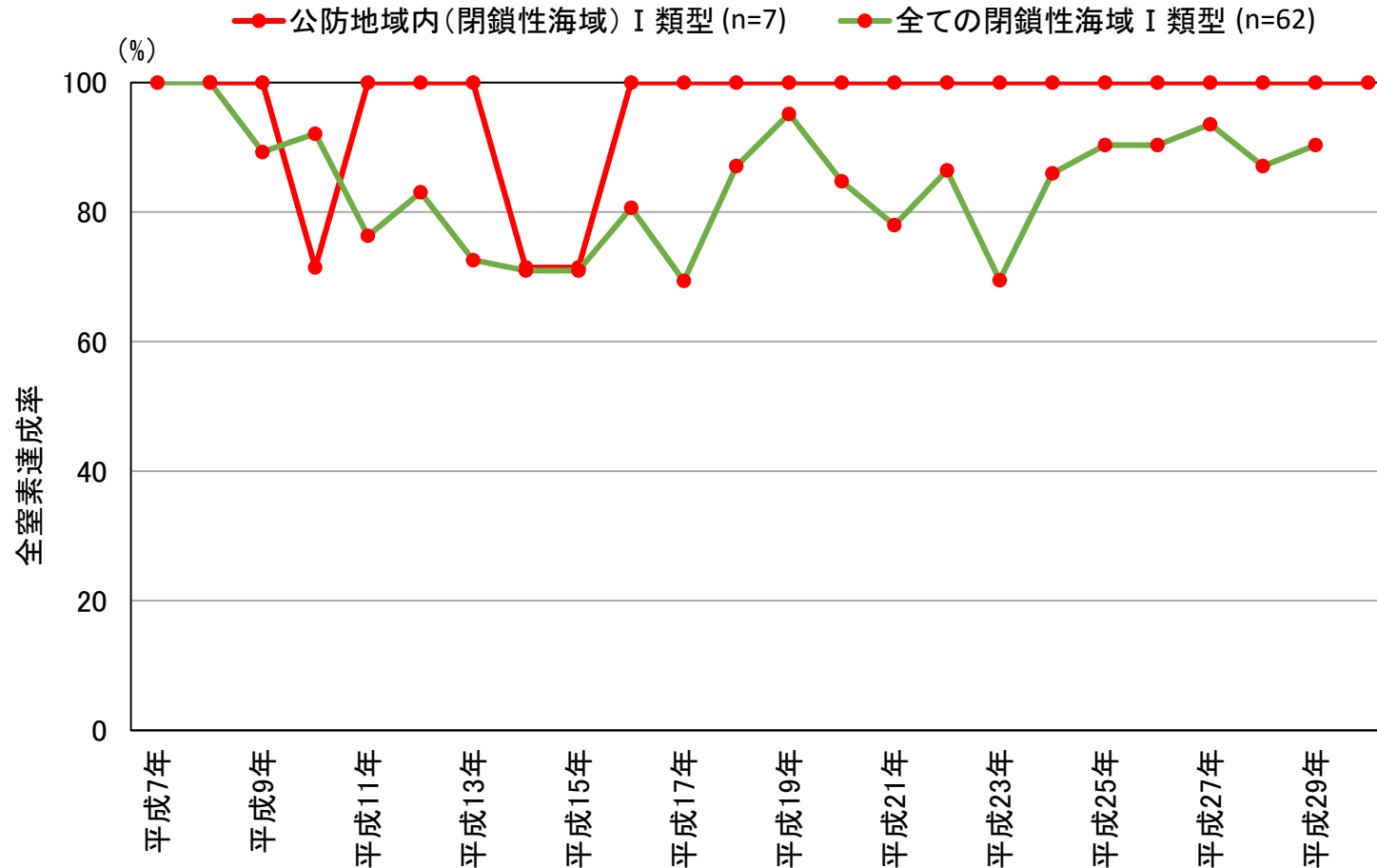


	環境基準
I類型	0.2mg/L以下
II類型	0.3mg/L以下
III類型	0.6mg/L以下
IV類型	1mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの  
 ※「公防地域内（閉鎖性海域）全体」には公害防止対策事業実施地域における閉鎖性海域を含む  
 ※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（I類型）における環境基準の達成状況（全窒素）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（I類型）における全窒素の環境基準達成率はおおむね100%で推移している

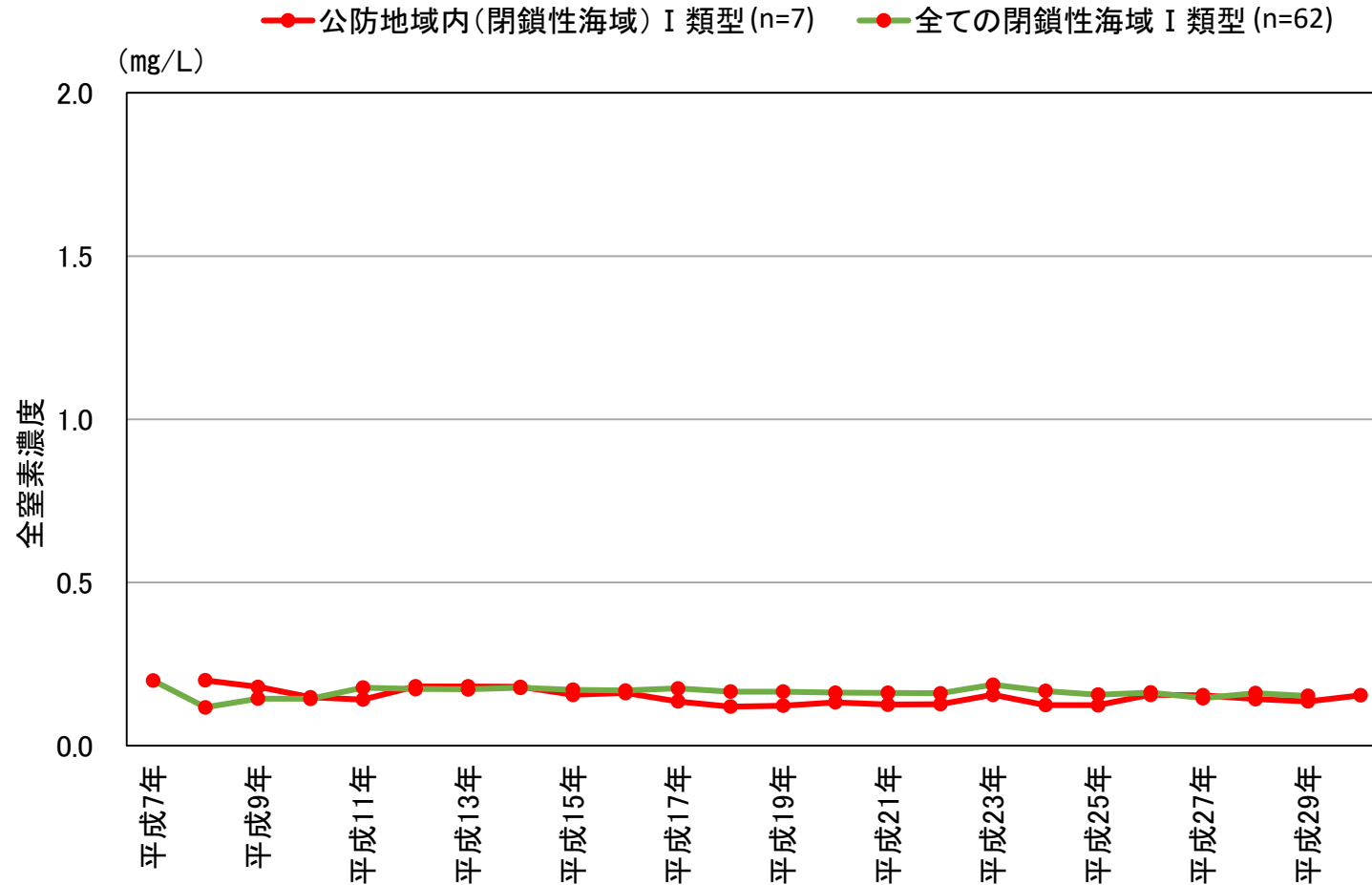


	環境基準
I類型	0.2mg/L以下
II類型	0.3mg/L以下
III類型	0.6mg/L以下
IV類型	1mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの  
 ※「公防地域内（閉鎖性海域）I類型」には公害防止対策事業実施地域におけるI類型の閉鎖性海域を含む  
 ※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない  
 ※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（I類型）における水質濃度の状況（全窒素）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（I類型）における全窒素濃度は0.2mg/L前後を推移している



	環境基準
I類型	0.2mg/L以下
II類型	0.3mg/L以下
III類型	0.6mg/L以下
IV類型	1mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

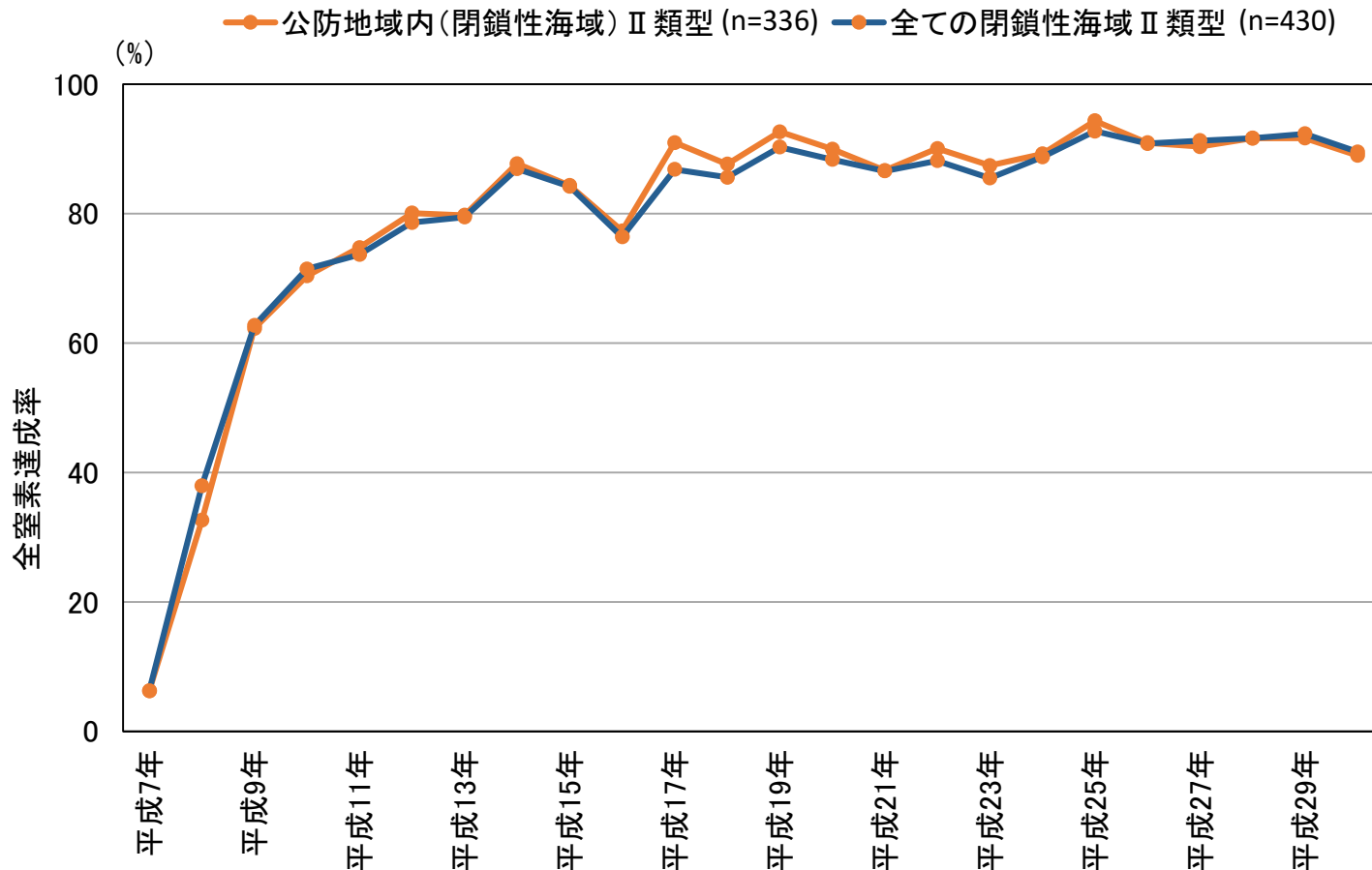
※「公防地域内（閉鎖性海域）I類型」には公害防止対策事業実施地域におけるI類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（II類型）における環境基準の達成状況（全窒素）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（II類型）における全窒素の環境基準達成率は、6%（平成7年）から89%（平成30年）まで改善している



	環境基準
I類型	0.2mg/L以下
II類型	0.3mg/L以下
III類型	0.6mg/L以下
IV類型	1mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

※「公防地域内（閉鎖性海域）II類型」には公害防止対策事業実施地域におけるII類型の閉鎖性海域を含む

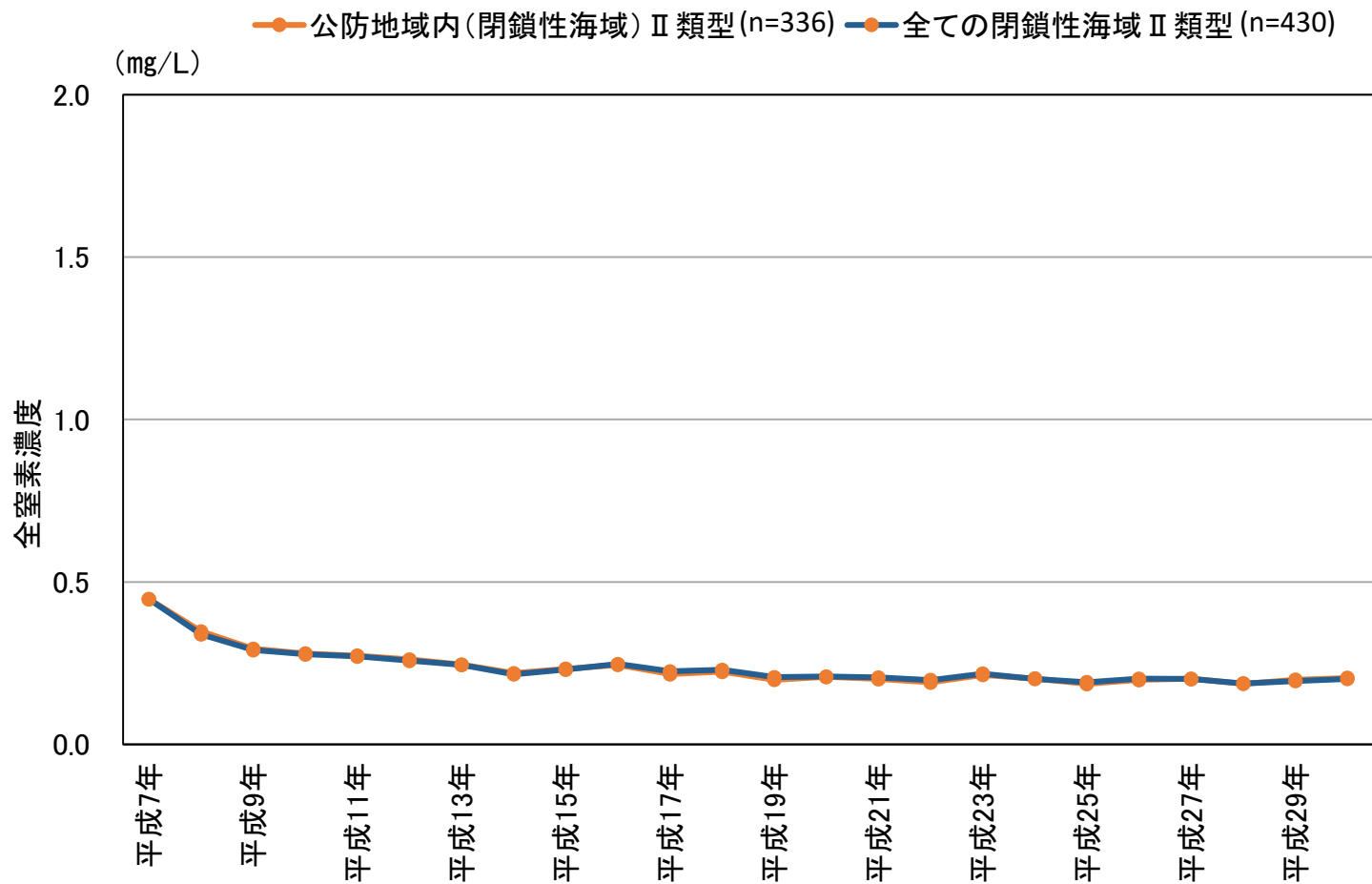
※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照



# 閉鎖性海域（II類型）における水質濃度の状況（全窒素）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（II類型）における全窒素濃度は0.45mg/L（平成7年）から0.20mg/L（平成30年）まで改善している

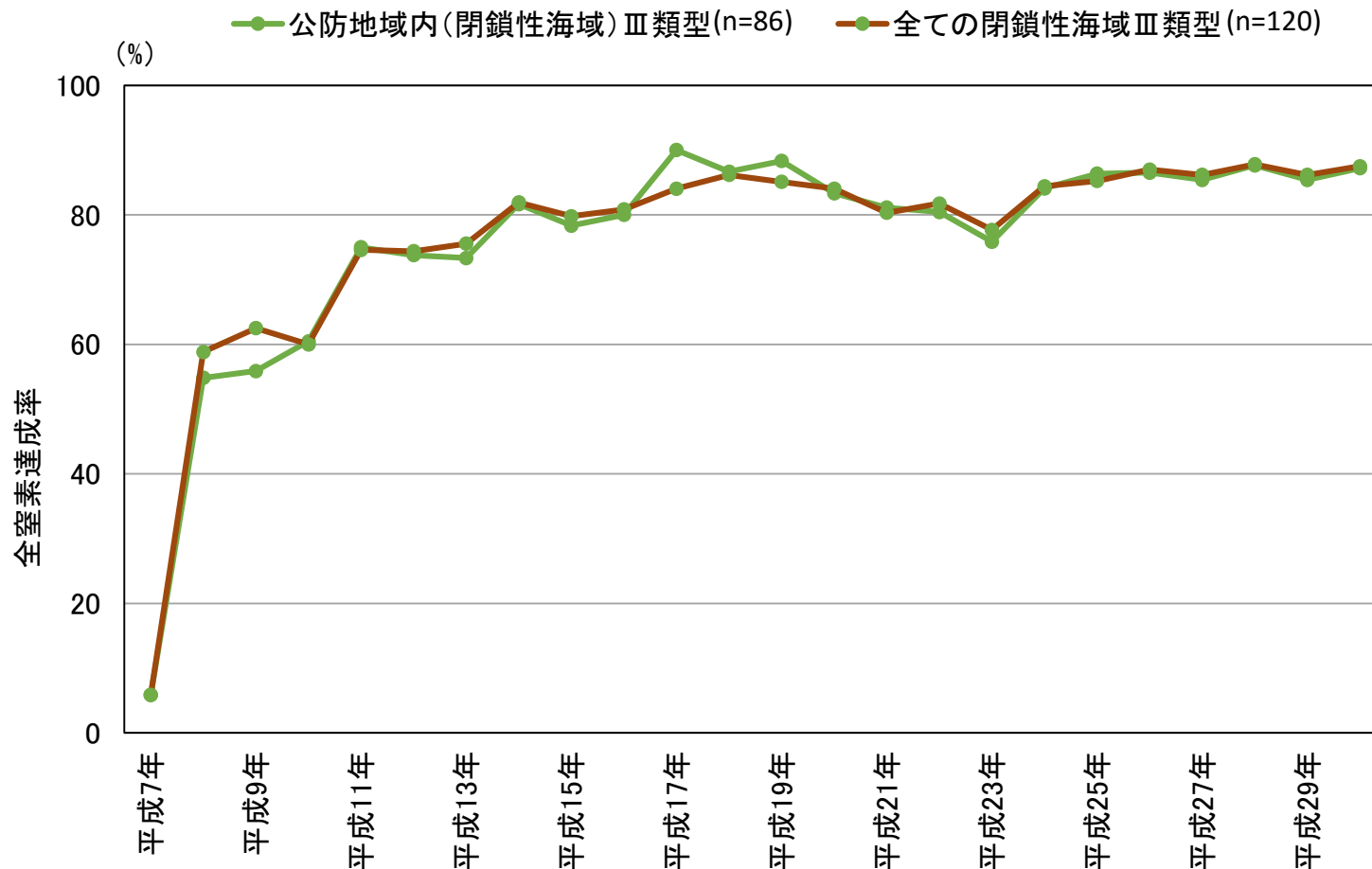


	環境基準
I類型	0.2mg/L以下
II類型	0.3mg/L以下
III類型	0.6mg/L以下
IV類型	1mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの  
 ※「公防地域内（閉鎖性海域）II類型」には公害防止対策事業実施地域におけるII類型の閉鎖性海域を含む  
 ※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない  
 ※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（III類型）における環境基準の達成状況（全窒素）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（III類型）における全窒素の環境基準達成率は、6%（平成7年）から87%（平成30年）まで改善している



	環境基準
I類型	0.2mg/L以下
II類型	0.3mg/L以下
III類型	0.6mg/L以下
IV類型	1mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

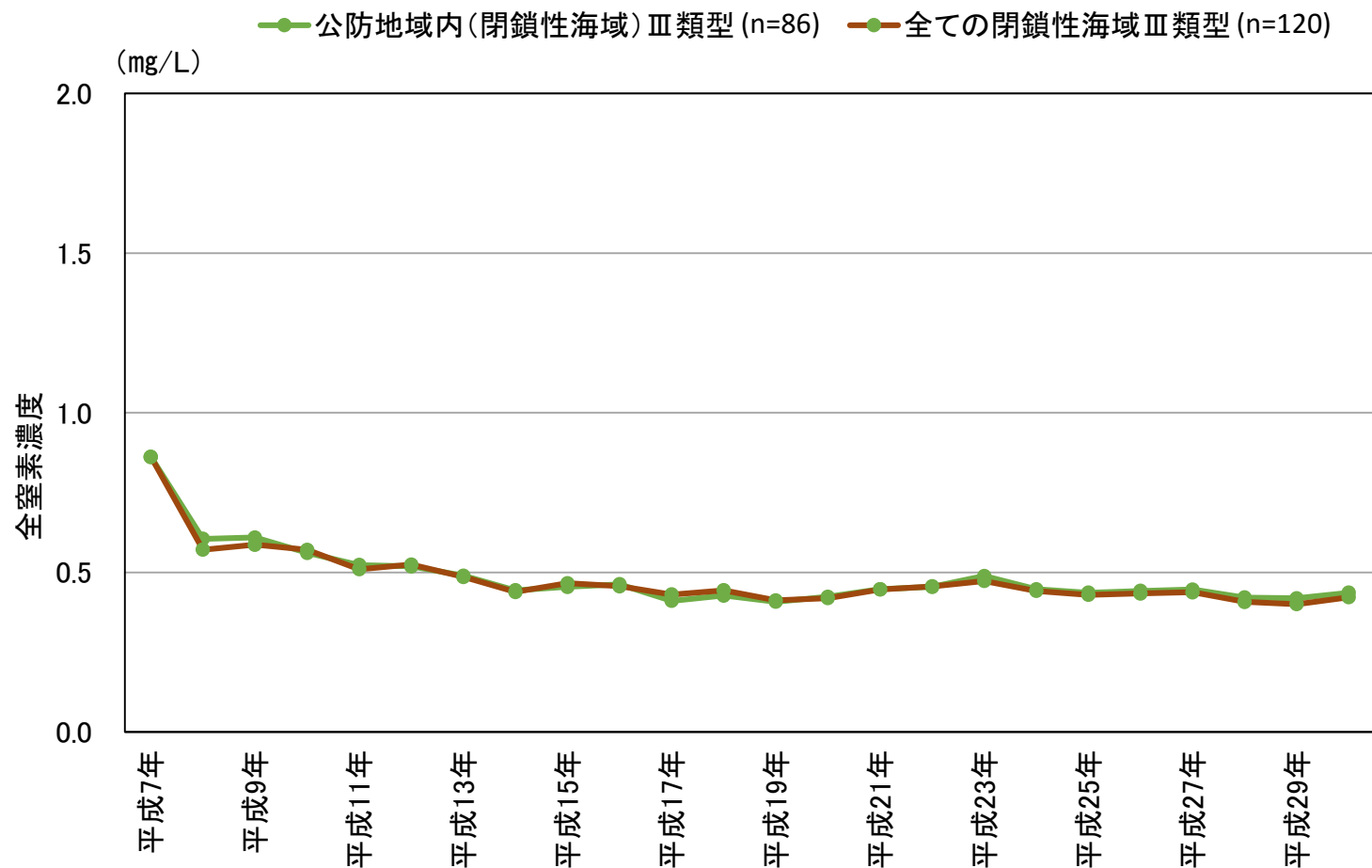
※「公防地域内（閉鎖性海域）III類型」には公害防止対策事業実施地域におけるIII類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（III類型）における水質濃度の状況（全窒素）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（III類型）における全窒素濃度は0.86mg/L（平成7年）から0.44mg/L（平成30年）まで改善している



	環境基準
I類型	0.2mg/L以下
II類型	0.3mg/L以下
III類型	0.6mg/L以下
IV類型	1mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

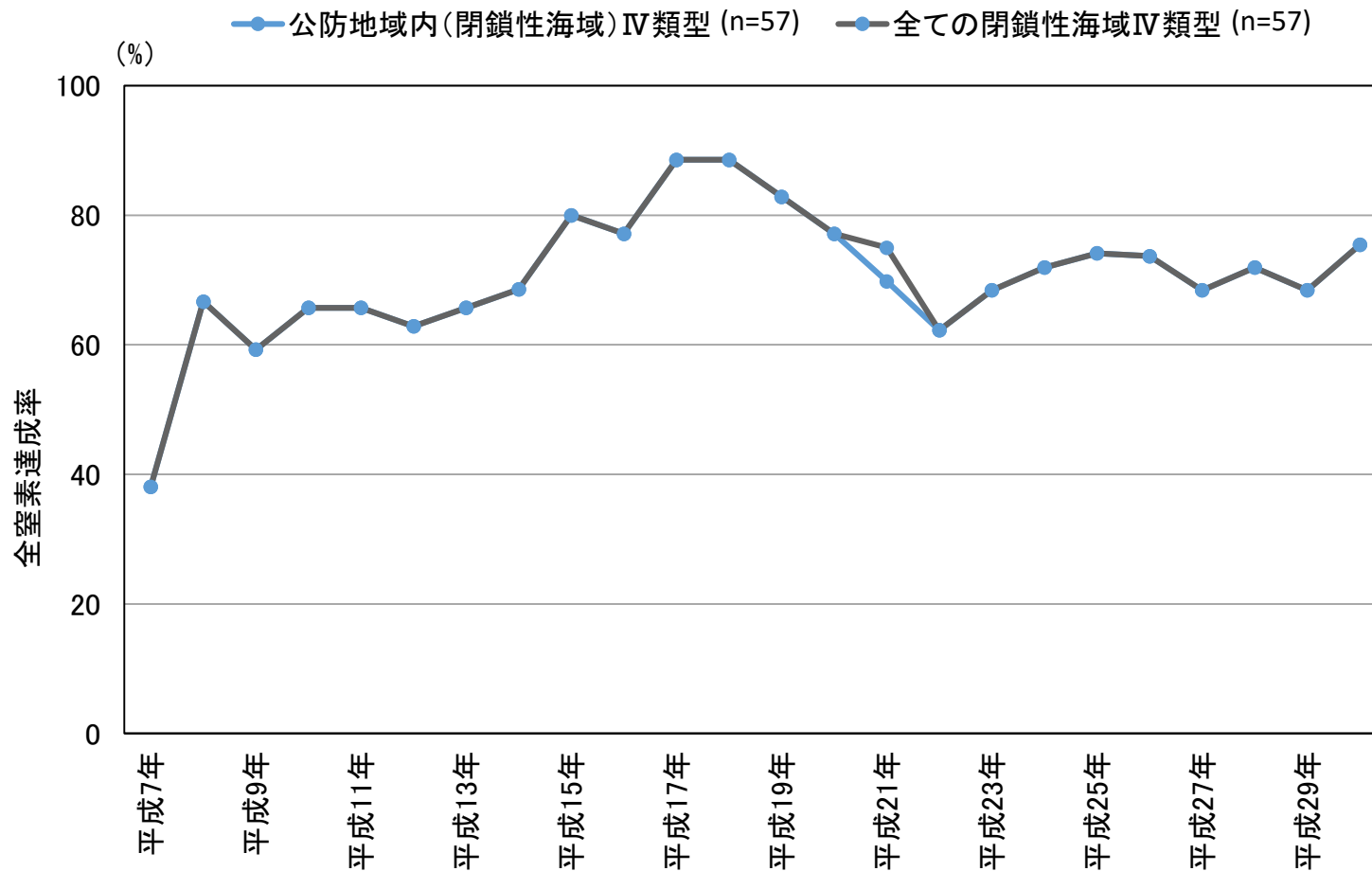
※「公防地域内（閉鎖性海域）III類型」には公害防止対策事業実施地域におけるIII類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（IV類型）における環境基準の達成状況（全窒素）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（IV類型）における全窒素の環境基準達成率は、38%（平成7年）から75%（平成30年）まで改善している



	環境基準
I類型	0.2mg/L以下
II類型	0.3mg/L以下
III類型	0.6mg/L以下
IV類型	1mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

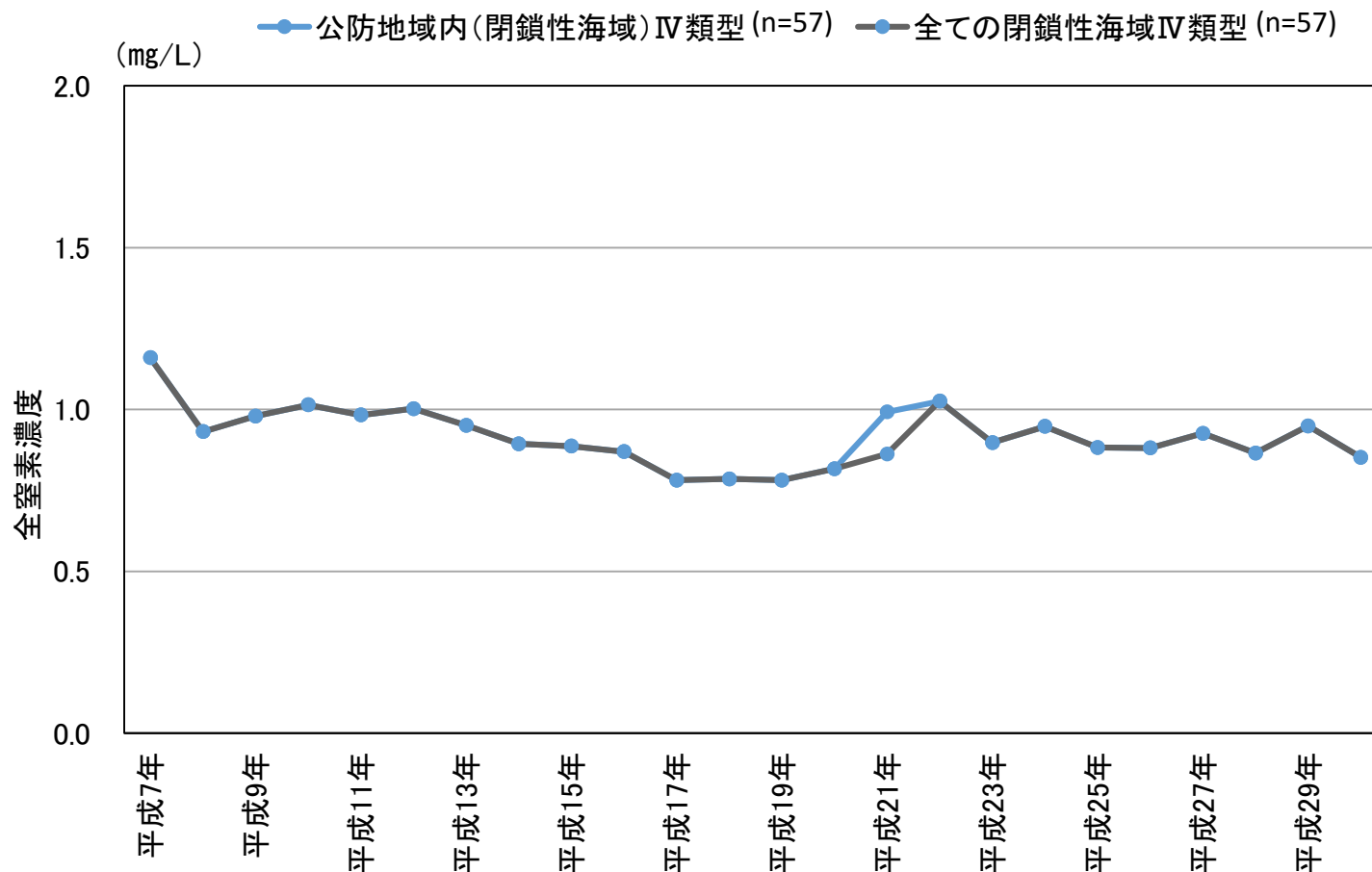
※「公防地域内（閉鎖性海域）IV類型」には公害防止対策事業実施地域におけるIV類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しないが、平成21年度を除き、「公防地域内（閉鎖性海域）IV類型」と「全ての閉鎖性海域IV類型」の母数は同じ

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（IV類型）における水質濃度の状況（全窒素）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（IV類型）における全窒素濃度は1.2mg/L（平成7年）から0.85mg/L（平成30年）まで改善している



	環境基準
I類型	0.2mg/L以下
II類型	0.3mg/L以下
III類型	0.6mg/L以下
IV類型	1mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

※「公防地域内（閉鎖性海域）IV類型」には公害防止対策事業実施地域におけるIV類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しないが、平成21年度を除き、「公防地域内（閉鎖性海域）IV類型」と「全ての閉鎖性海域IV類型」の母数は同じ

※『水環境総合情報サイト』参照

# 主な閉鎖性海域における水質の状況（全窒素）

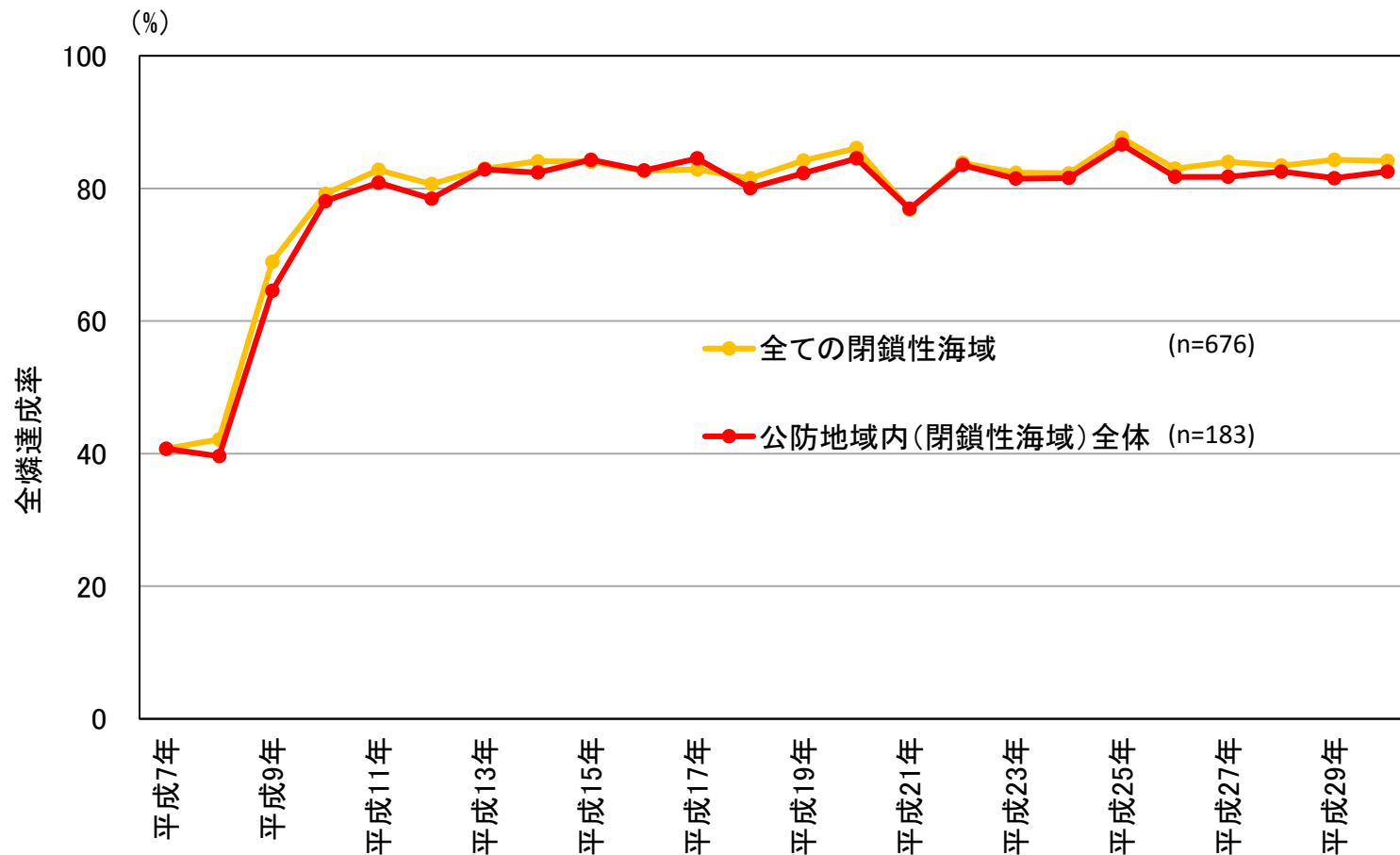
○ 主な閉鎖性海域における全窒素の環境基準達成率と濃度は以下の通りとなっている（平成30年度）

	類型	地点数	環境基準達成率	平均濃度（全窒素）	環境基準値
東京湾	I	0	-	-	0.2mg/L
	II	6	50%	0.33mg/L	0.3mg/L
	III	13	85%	0.53mg/L	0.6mg/L
	IV	30	63%	1.1mg/L	1mg/L
	計	49	67%	0.82mg/L	
伊勢湾	I	0	-	-	0.2mg/L
	II	13	62%	0.30mg/L	0.3mg/L
	III	10	80%	0.67mg/L	0.6mg/L
	IV	8	88%	0.67mg/L	1mg/L
	計	31	74%	0.51mg/L	
瀬戸内海	I	5	100%	0.15mg/L	0.2mg/L
	II	308	92%	0.20mg/L	0.3mg/L
	III	44	86%	0.38mg/L	0.6mg/L
	IV	15	93%	0.57mg/L	1mg/L
	計	372	91%	0.23mg/L	
瀬戸内海 (大阪湾を除く)	I	5	100%	0.15mg/L	0.2mg/L
	II	296	91%	0.19mg/L	0.3mg/L
	III	37	84%	0.39mg/L	0.6mg/L
	IV	9	89%	0.65mg/L	1mg/L
	計	347	90%	0.23mg/L	
大阪湾	I	0	-	-	0.2mg/L
	II	12	100%	0.24mg/L	0.3mg/L
	III	7	100%	0.34mg/L	0.6mg/L
	IV	6	100%	0.40mg/L	1mg/L
	計	25	100%	0.32mg/L	

※ 『水環境総合情報サイト』 参照

# 閉鎖性海域における環境基準の達成状況（全燐）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域における全燐の環境基準達成率は、41%（平成7年）から83%（平成30年）まで改善しており、全ての閉鎖性海域における全燐の環境基準達成率との差は僅かにとどまる



	環境基準
I類型	0.02mg/L以下
II類型	0.03mg/L以下
III類型	0.05mg/L以下
IV類型	0.09mg/L以下

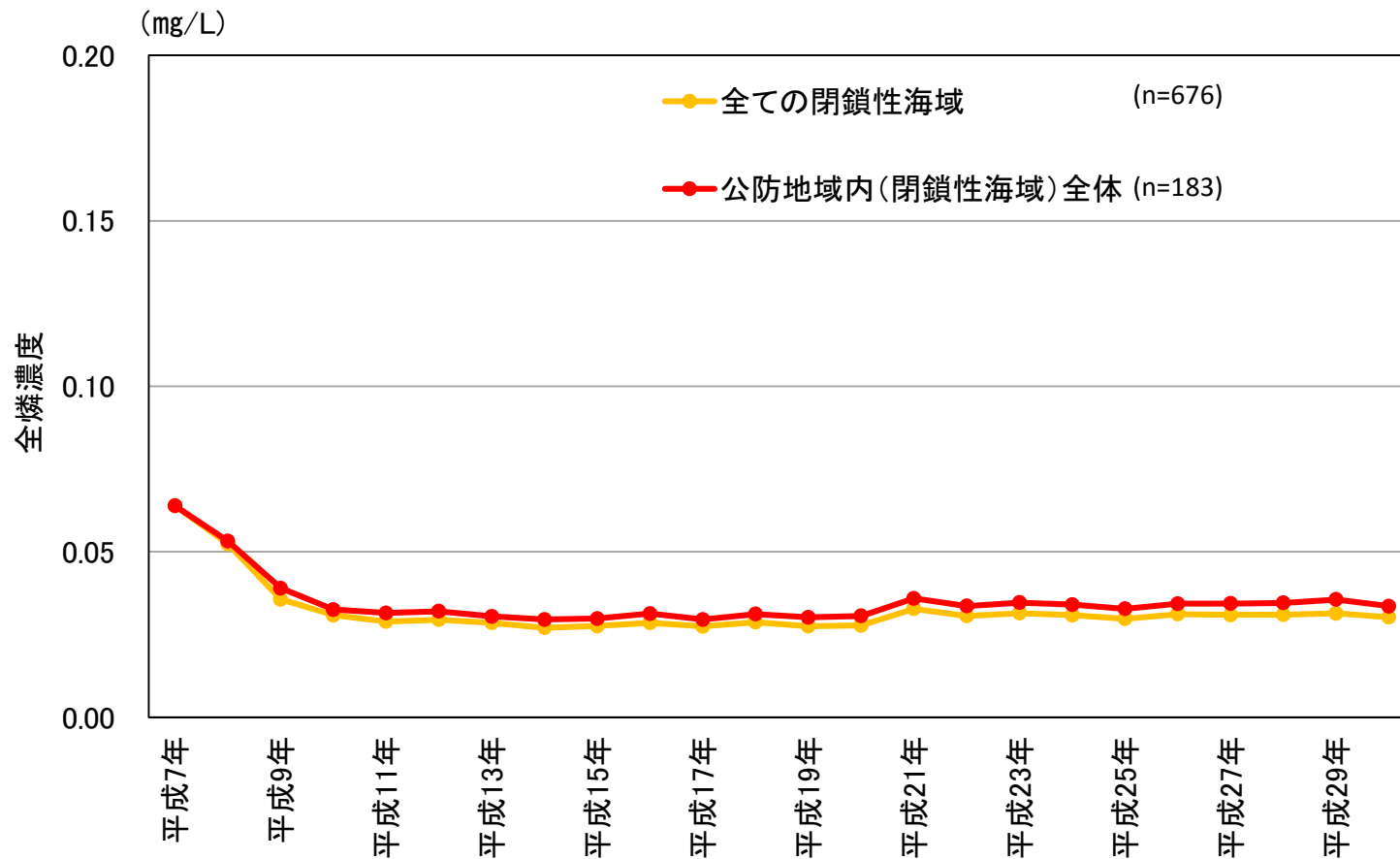
※グラフ内n値は平成30年度のもの

※「公防地域内(閉鎖性海域)全体」には公害防止対策事業実施地域における閉鎖性海域を含む

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域における水質濃度の状況（全燐）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域における全燐濃度は、0.064mg/L（平成7年）から0.033mg/L（平成30年）まで改善しており、全ての閉鎖性海域における全燐濃度との差は僅かにとどまる



	環境基準
I類型	0.02mg/L以下
II類型	0.03mg/L以下
III類型	0.05mg/L以下
IV類型	0.09mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

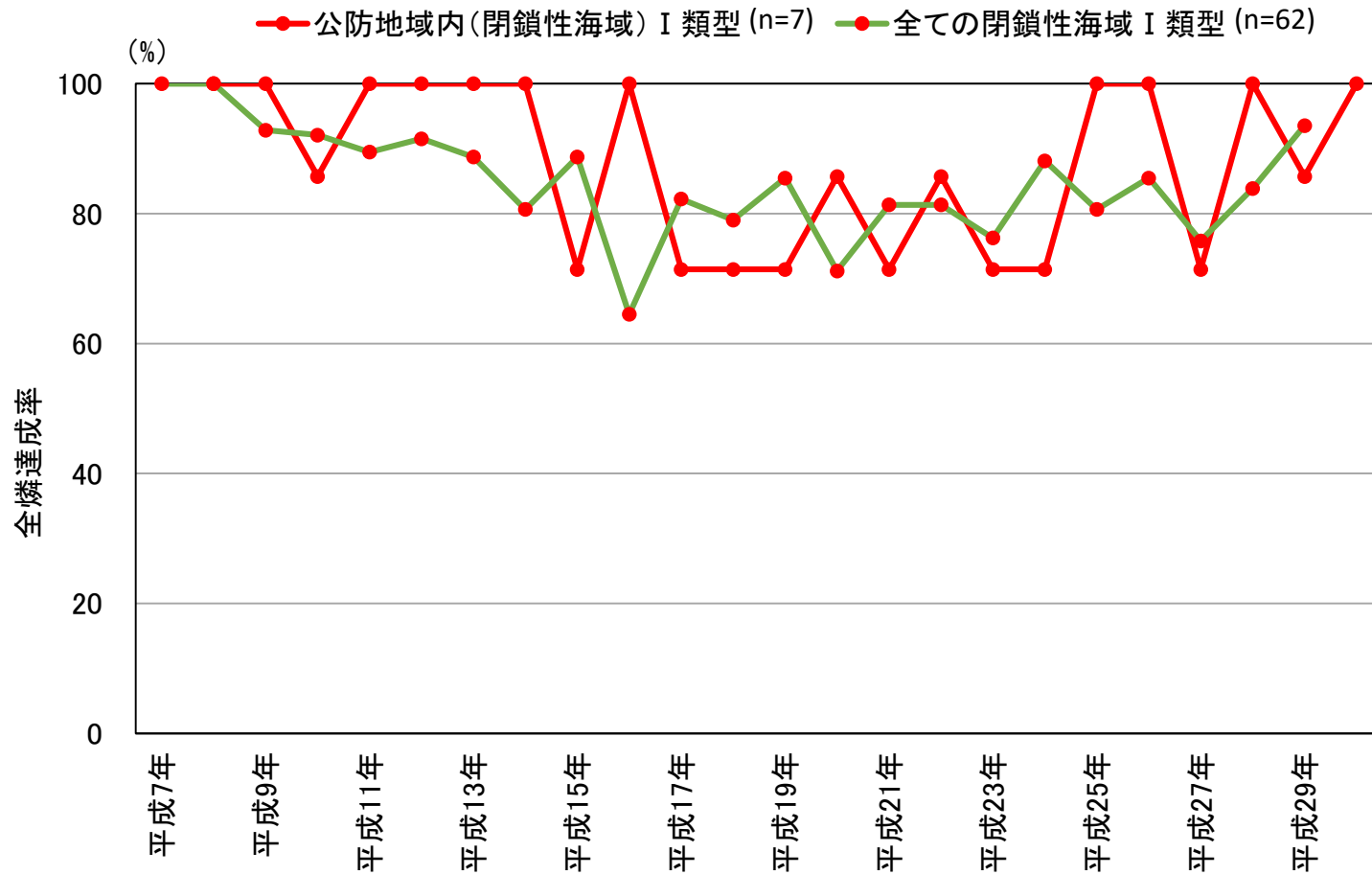
※「公防地域内（閉鎖性海域）全体」には公害防止対策事業実施地域における閉鎖性海域を含む

※『水環境総合情報サイト』参照



# 閉鎖性海域（I類型）における環境基準の達成状況（全燐）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（I類型）における全燐の環境基準達成率は約70%~100%の間を推移している

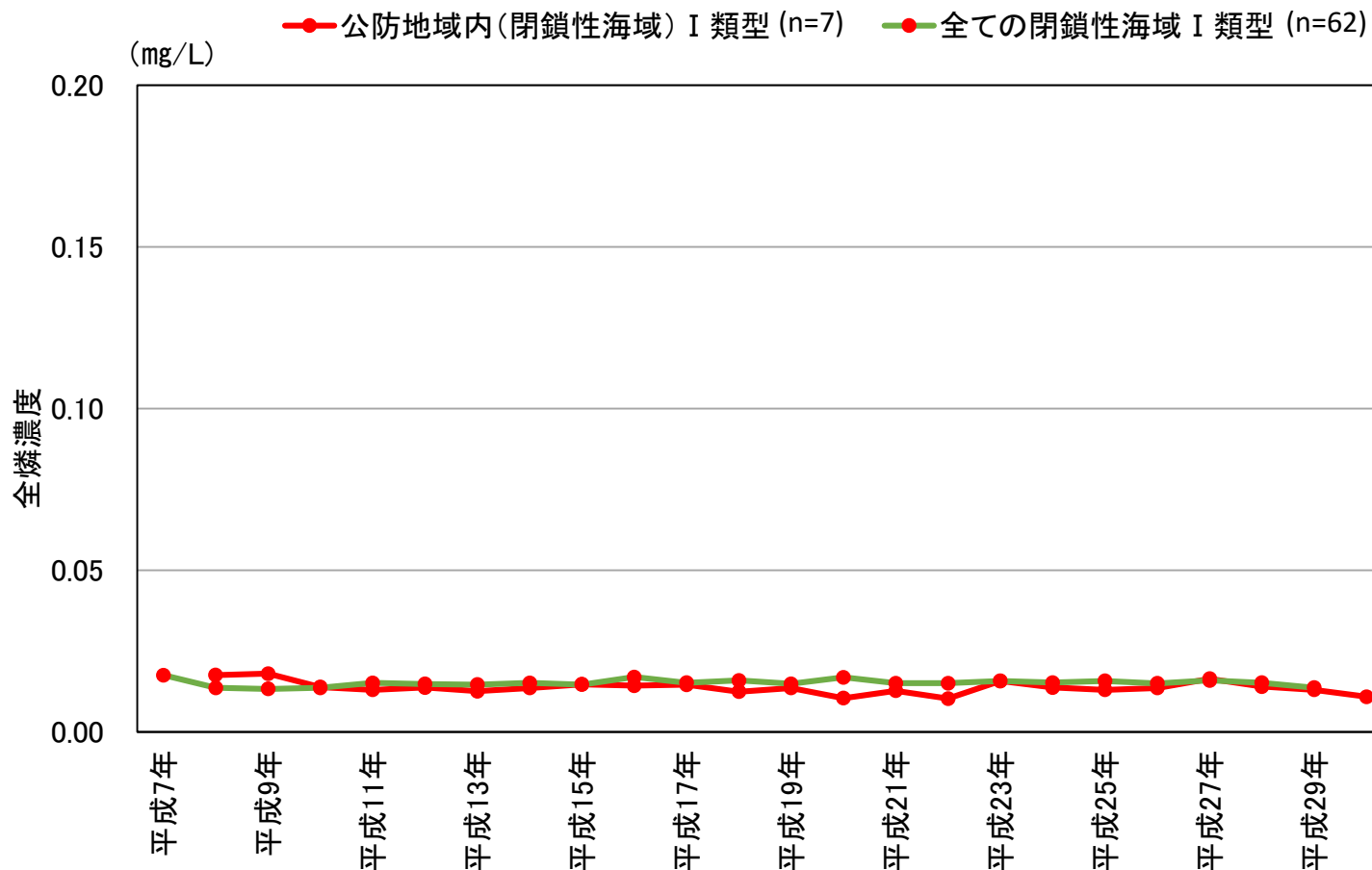


	環境基準
I類型	0.02mg/L以下
II類型	0.03mg/L以下
III類型	0.05mg/L以下
IV類型	0.09mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの  
 ※「公防地域内（閉鎖性海域）I類型」には公害防止対策事業実施地域におけるI類型の閉鎖性海域を含む  
 ※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない  
 ※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（I類型）における水質濃度の状況（全燐）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（I類型）における全燐濃度は約0.02mg/Lを横ばいに推移している



	環境基準
I類型	0.02mg/L以下
II類型	0.03mg/L以下
III類型	0.05mg/L以下
IV類型	0.09mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

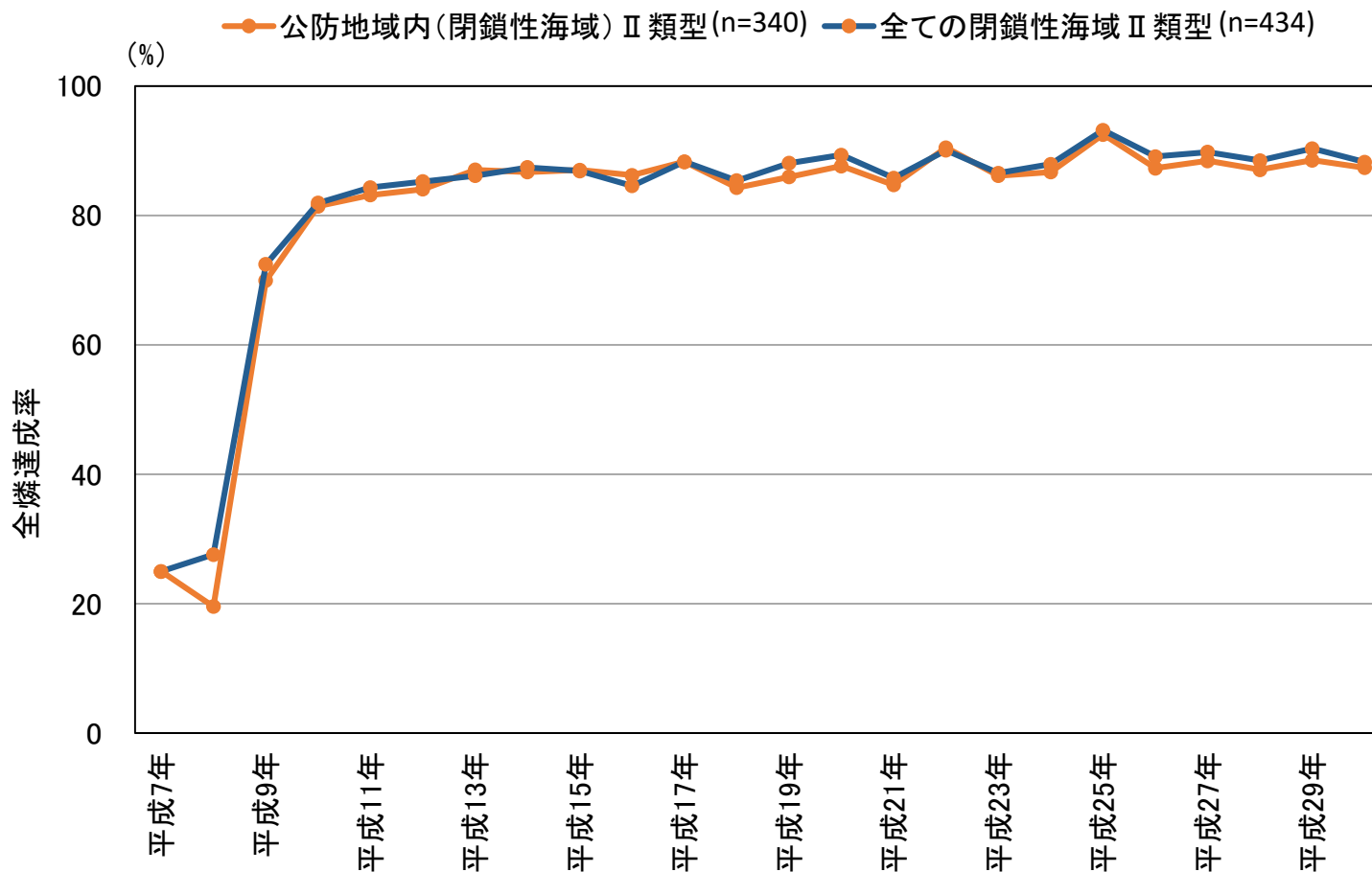
※「公防地域内（閉鎖性海域）I類型」には公害防止対策事業実施地域におけるI類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（II類型）における環境基準の達成状況（全燐）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（II類型）における全燐の環境基準達成率は、25%（平成7年）から87%（平成30年）まで改善している



	環境基準
I類型	0.02mg/L以下
II類型	0.03mg/L以下
III類型	0.05mg/L以下
IV類型	0.09mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

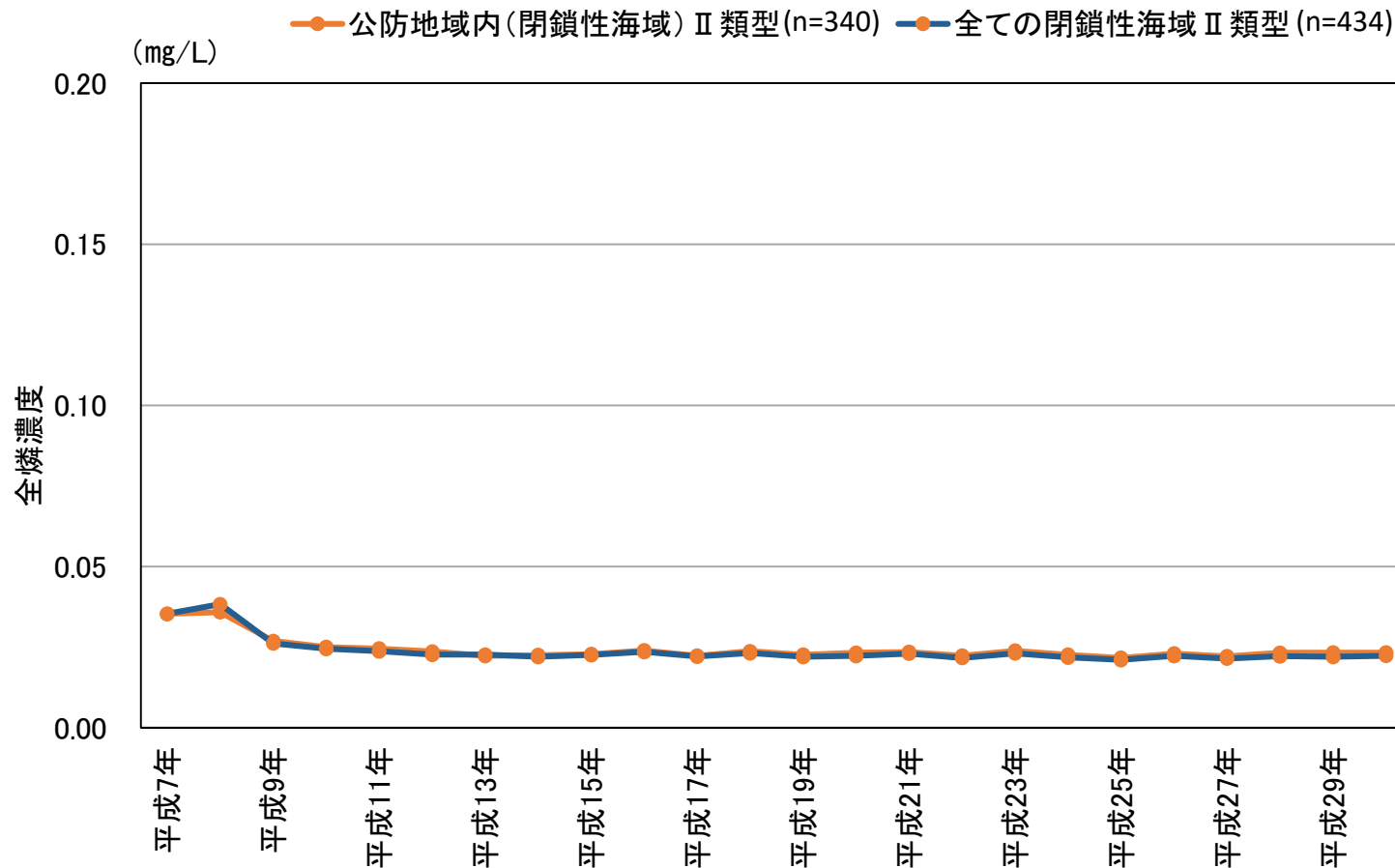
※「公防地域内（閉鎖性海域）II類型」には公害防止対策事業実施地域におけるII類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（II類型）における水質濃度の状況（全燐）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（II類型）における全燐濃度は0.035mg/L（平成7年）から0.023mg/L（平成30年）まで改善している



	環境基準
I類型	0.02mg/L以下
II類型	0.03mg/L以下
III類型	0.05mg/L以下
IV類型	0.09mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

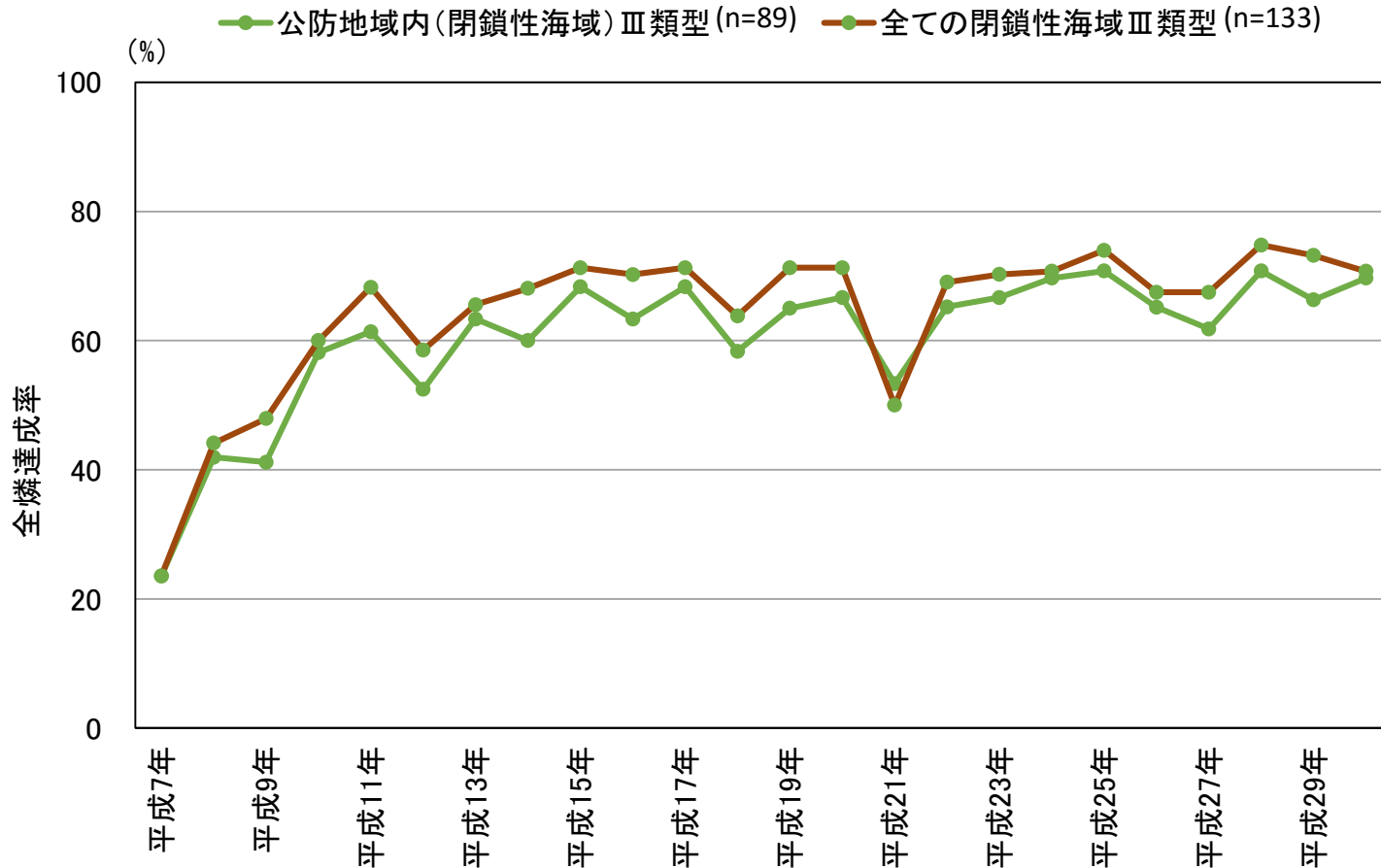
※「公防地域内（閉鎖性海域）II類型」には公害防止対策事業実施地域におけるII類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（III類型）における環境基準の達成状況（全燐）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（III類型）における全燐の環境基準達成率は、24%（平成7年）から70%（平成30年）まで改善している

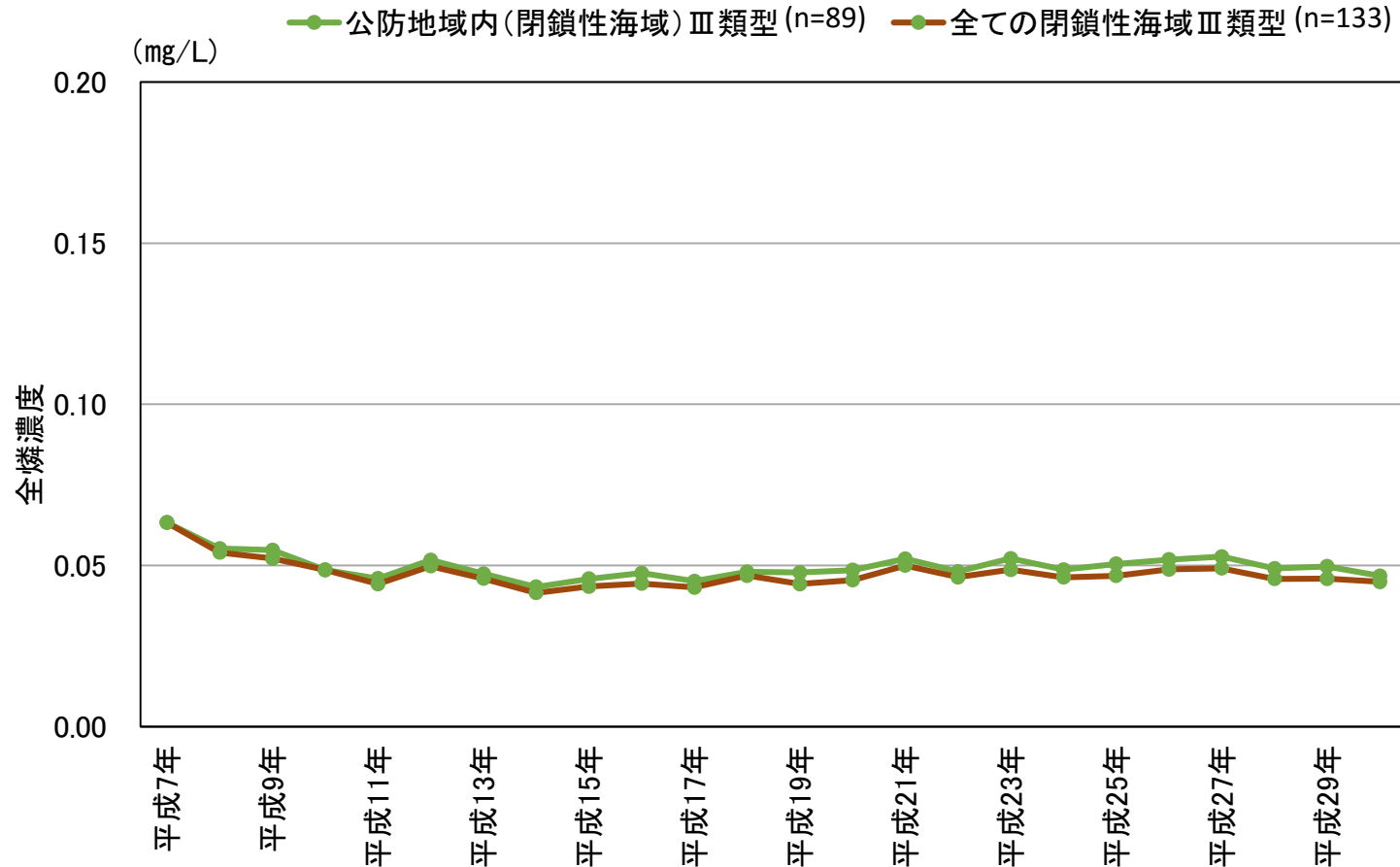


	環境基準
I類型	0.02mg/L以下
II類型	0.03mg/L以下
III類型	0.05mg/L以下
IV類型	0.09mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの  
 ※「公防地域内（閉鎖性海域）III類型」には公害防止対策事業実施地域におけるIII類型の閉鎖性海域を含む  
 ※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない  
 ※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（III類型）における水質濃度の状況（全磷）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（III類型）における全磷濃度は0.063mg/L（平成7年）から0.047mg/L（平成30年）まで改善している



	環境基準
I類型	0.02mg/L以下
II類型	0.03mg/L以下
III類型	0.05mg/L以下
IV類型	0.09mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

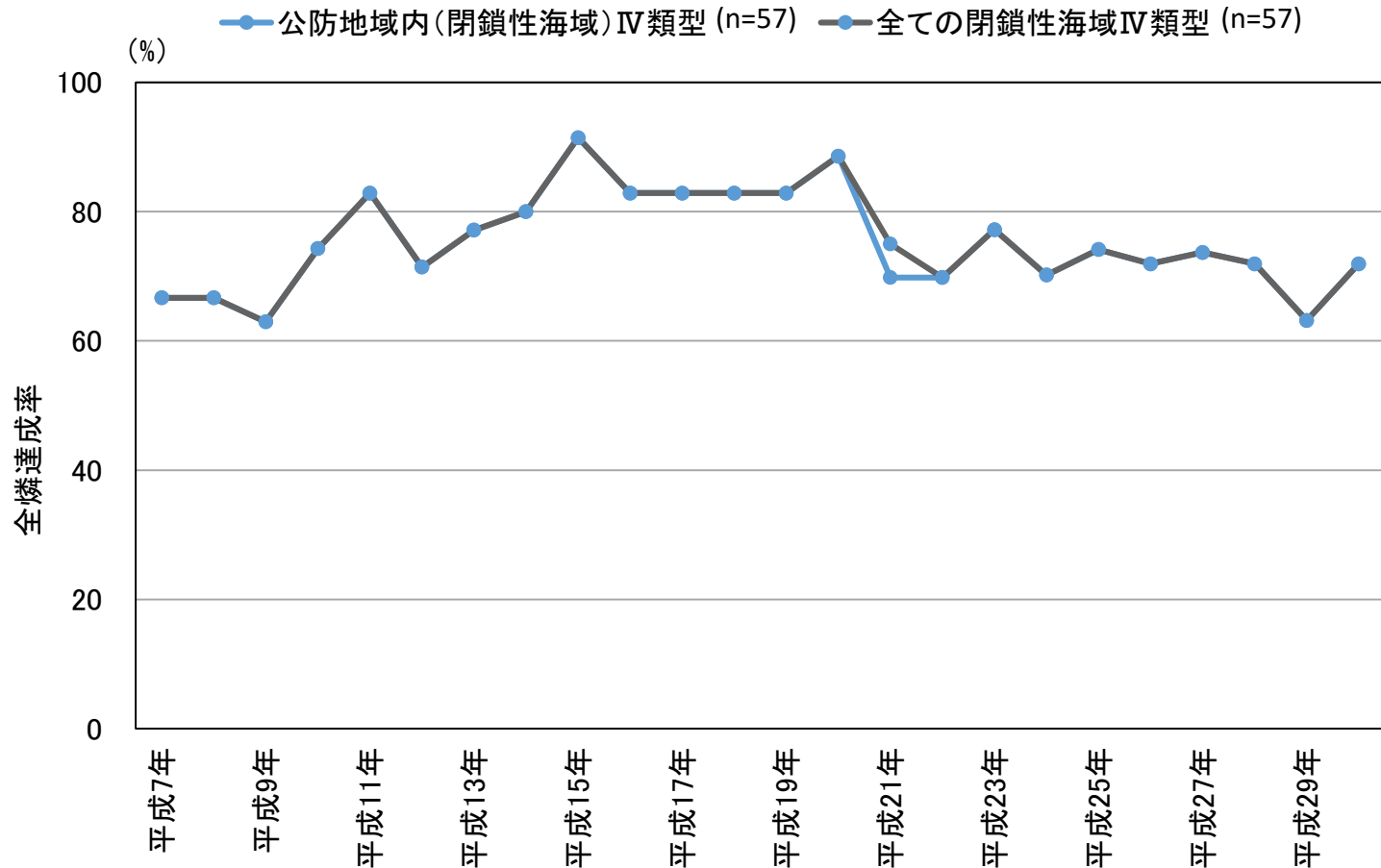
※「公防地域内（閉鎖性海域）III類型」には公害防止対策事業実施地域におけるIII類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しない

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（IV類型）における環境基準の達成状況（全燐）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（IV類型）における全燐の環境基準達成率は約60%～90%の間を推移している



	環境基準
I類型	0.02mg/L以下
II類型	0.03mg/L以下
III類型	0.05mg/L以下
IV類型	0.09mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

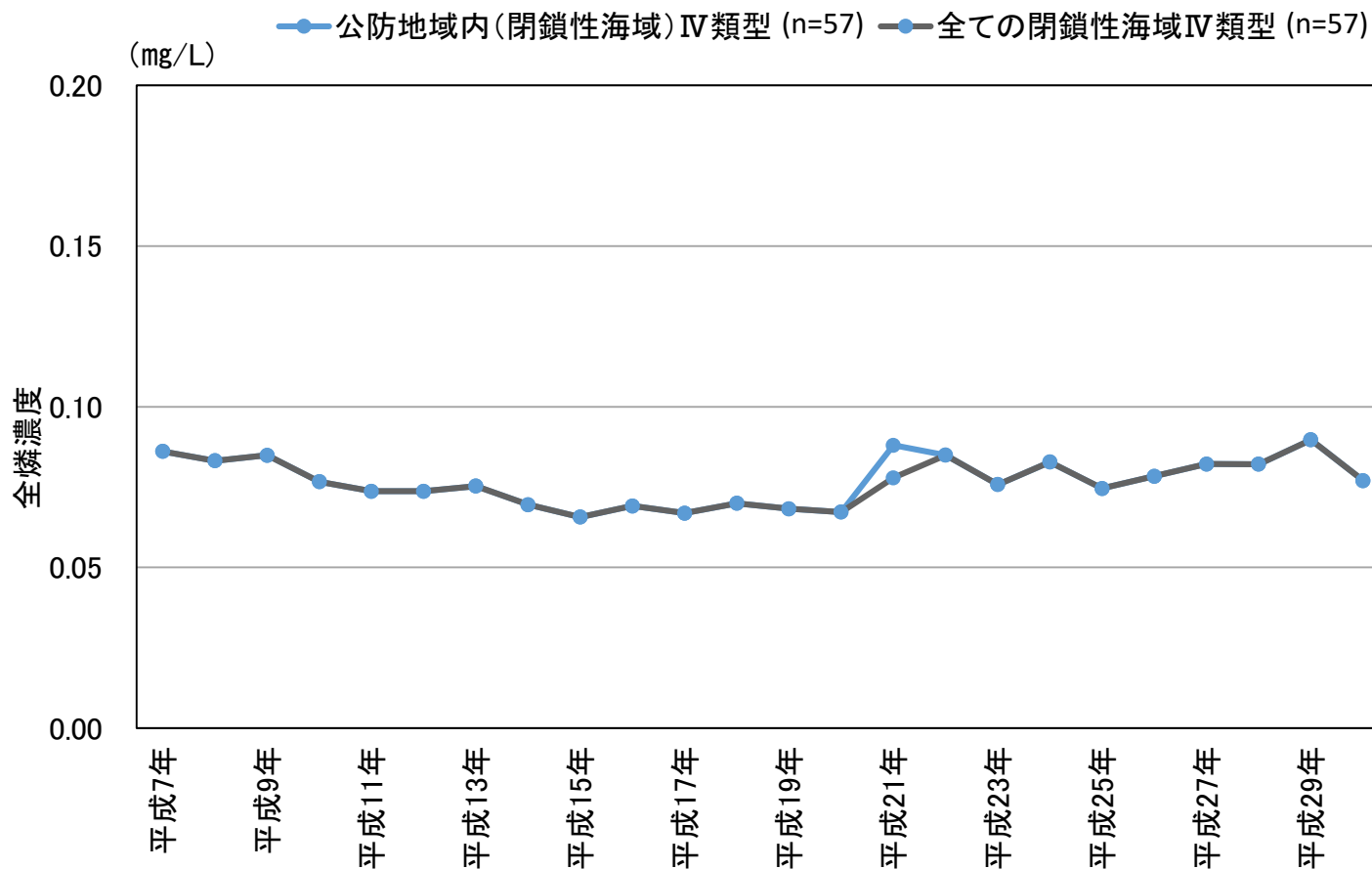
※「公防地域内（閉鎖性海域）IV類型」には公害防止対策事業実施地域におけるIV類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による達成率の変動は必ずしも水質の悪化を意味しないが、平成21年度を除き、「公防地域内（閉鎖性海域）IV類型」と「全ての閉鎖性海域IV類型」の母数は同じ

※『水環境総合情報サイト』参照

# 閉鎖性海域（IV類型）における水質濃度の状況（全燐）

○ 公害防止対策事業実施地域に係る海域（IV類型）における全燐濃度は約0.09~0.07mg/Lの間を推移している



	環境基準
I類型	0.02mg/L以下
II類型	0.03mg/L以下
III類型	0.05mg/L以下
IV類型	0.09mg/L以下

※グラフ内n値は平成30年度のもの

※「公防地域内（閉鎖性海域）IV類型」には公害防止対策事業実施地域におけるIV類型の閉鎖性海域を含む

※類型の母数には変動があるため、経年変化による濃度の変動は必ずしも水質の悪化を意味しないが、平成21年度を除き、「公防地域内（閉鎖性海域）IV類型」と「全ての閉鎖性海域IV類型」の母数は同じ

※『水環境総合情報サイト』参照



# 主な閉鎖性海域における水質の状況（全燐）

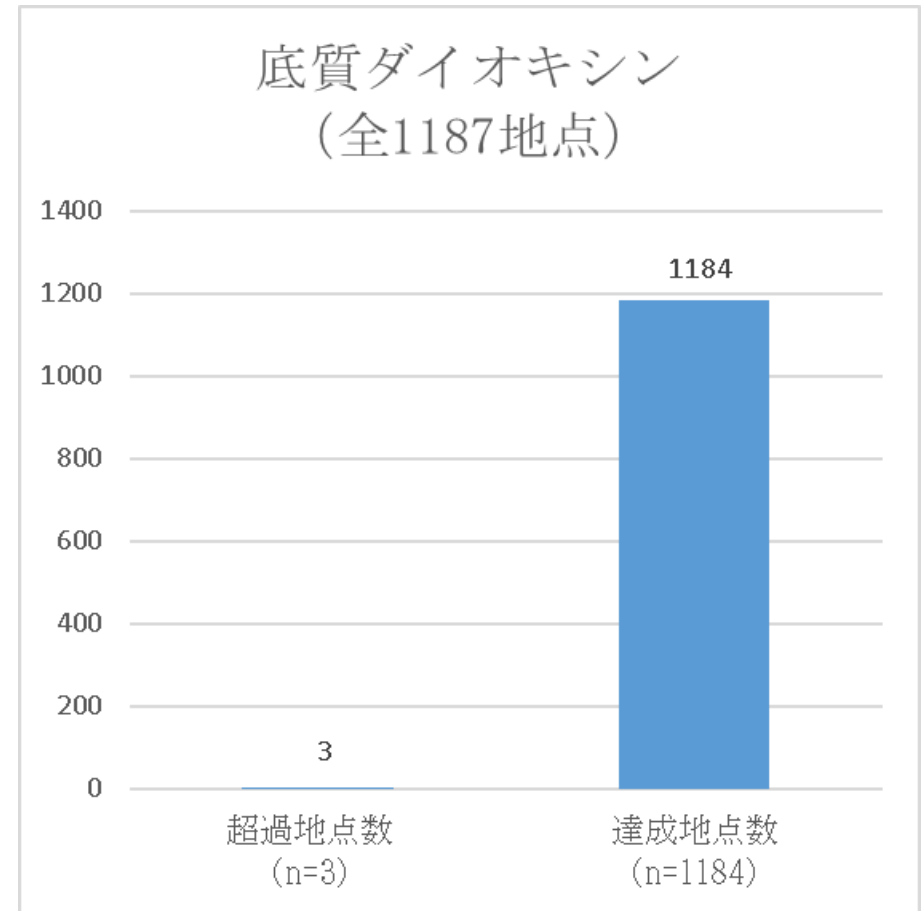
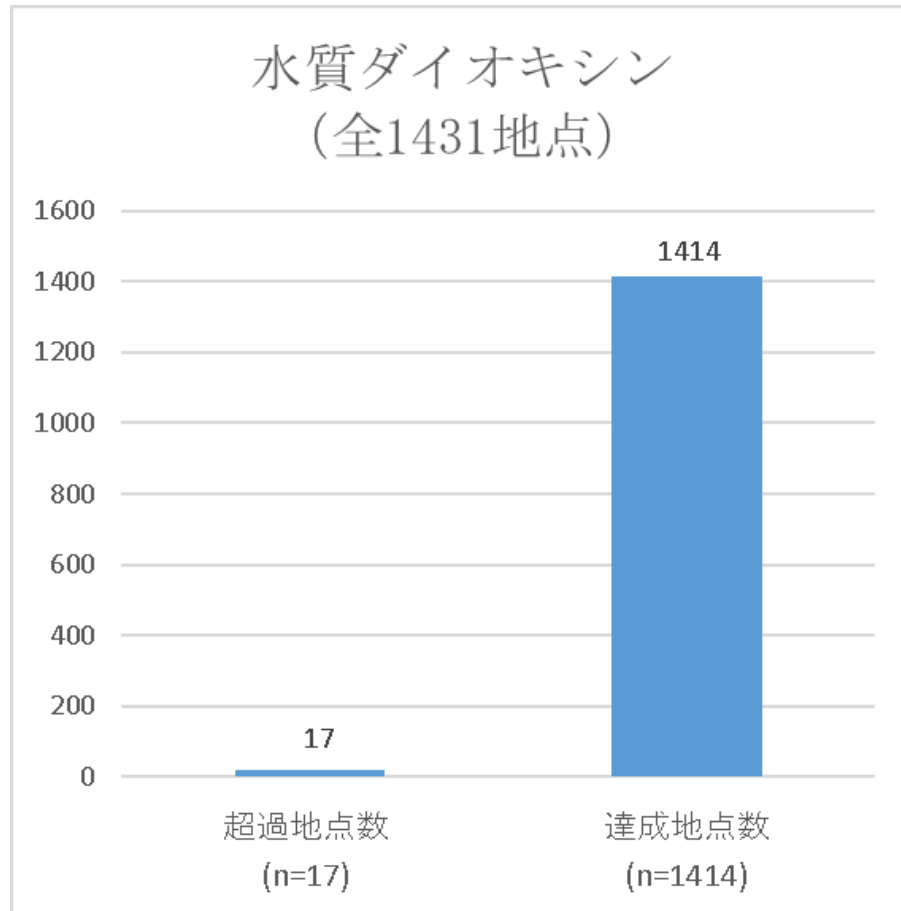
○ 主な閉鎖性海域における全燐の環境基準達成率と濃度は以下の通りとなっている（平成30年度）

	類型	地点数	環境基準達成率	平均濃度（全燐）	環境基準値
東京湾	I	0	-	-	0.02mg/L
	II	6	67%	0.031mg/L	0.03mg/L
	III	13	54%	0.049mg/L	0.05mg/L
	IV	30	60%	0.093mg/L	0.09mg/L
	計	49	59%	0.074mg/L	
伊勢湾	I	0	-	-	0.02mg/L
	II	14	57%	0.029mg/L	0.03mg/L
	III	10	70%	0.069mg/L	0.05mg/L
	IV	8	63%	0.082mg/L	0.09mg/L
	計	32	63%	0.055mg/L	
瀬戸内海	I	5	100%	0.008mg/L	0.02mg/L
	II	311	90%	0.023mg/L	0.03mg/L
	III	44	91%	0.033mg/L	0.05mg/L
	IV	15	93%	0.054mg/L	0.09mg/L
	計	375	90%	0.025mg/L	
瀬戸内海 (大阪湾を除く)	I	5	100%	0.008mg/L	0.02mg/L
	II	299	90%	0.023mg/L	0.03mg/L
	III	37	89%	0.032mg/L	0.05mg/L
	IV	9	89%	0.061mg/L	0.09mg/L
	計	350	90%	0.024mg/L	
大阪湾	I	0	-	-	0.02mg/L
	II	12	83%	0.027mg/L	0.03mg/L
	III	7	100%	0.034mg/L	0.05mg/L
	IV	6	100%	0.044mg/L	0.09mg/L
	計	25	92%	0.033mg/L	

※『水環境総合情報サイト』参照

# ダイオキシン類に係る環境基準の達成状況

- ダイオキシン類の環境基準超過がみられるのは、公共用水域における水質（17地点超過/全体1431地点）と底質（3地点超過/全体1187地点）のみ
- その他（大気、地下水質、土壌）に関しては環境基準の超過はない



※グラフ内n値は平成30年度のもの  
※『平成30年度ダイオキシン類に係る環境調査結果』参照

# ダイオキシン類（水質）に係る環境基準の超過地点

○ 水質ダイオキシンの平均値が環境基準値を超過しているのは全体1431地点中以下の17地点であり、そのうち公害防止対策事業が行われているのは手賀沼と油ヶ淵の2カ所である

	都道府県	水域分類	超過地点名	公防地域	平均値 (水質ダイオキシン)	環境基準値
1	宮城県	河川	鶴田川	×	3.4pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L
2	埼玉県	河川	綾瀬川	×	1.2pg-TEQ/L	
3	埼玉県	河川	新片川	×	1.2pg-TEQ/L	
4	埼玉県	河川	古綾瀬川	×	1.2pg-TEQ/L	
5	千葉県	河川	木戸川	×	1.0pg-TEQ/L	
6	千葉県	河川	清水川	×	1.0pg-TEQ/L	
7	千葉県	湖沼	手賀沼	○	1.9pg-TEQ/L	
8	新潟県	河川	関川	×	2.3pg-TEQ/L	
9	新潟県	河川	保倉川	×	4.1pg-TEQ/L	
10	新潟県	河川	福島潟	×	1.8pg-TEQ/L	
11	新潟県	河川	新発田川	×	1.2pg-TEQ/L	
12	新潟県	河川	矢代川	×	1.0pg-TEQ/L	
13	新潟県	河川	新井郷川	×	2.0pg-TEQ/L	
14	愛知県	河川	逢妻川	×	1.7pg-TEQ/L	
15	愛知県	河川	半場川	×	1.5pg-TEQ/L	
16	愛知県	河川	鹿乗川	×	1.5pg-TEQ/L	
17	愛知県	湖沼	油ヶ淵	○	1.6pg-TEQ/L	

※グラフ内データは平成30年度のもの  
 ※『平成30年度ダイオキシン類に係る環境調査結果』参照

## ダイオキシン類（底質）に係る環境基準の超過地点

- 底質ダイオキシンの平均値が環境基準値を超過しているのは全体1187地点中以下の3地点であり、その全ての水域において公害防止対策事業が行われている

	都道府県	水域分類	超過地点名（水域名称）	公防地域	平均値 (底質ダイオキシン)	環境基準値
1	東京都	河川	横十間川	○	190pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g
2	埼玉県	河川	伝右川	○	190pg-TEQ/g	
3	富山県	河川	富岩運河、岩瀬運河及び住友運河	○	430pg-TEQ/g	

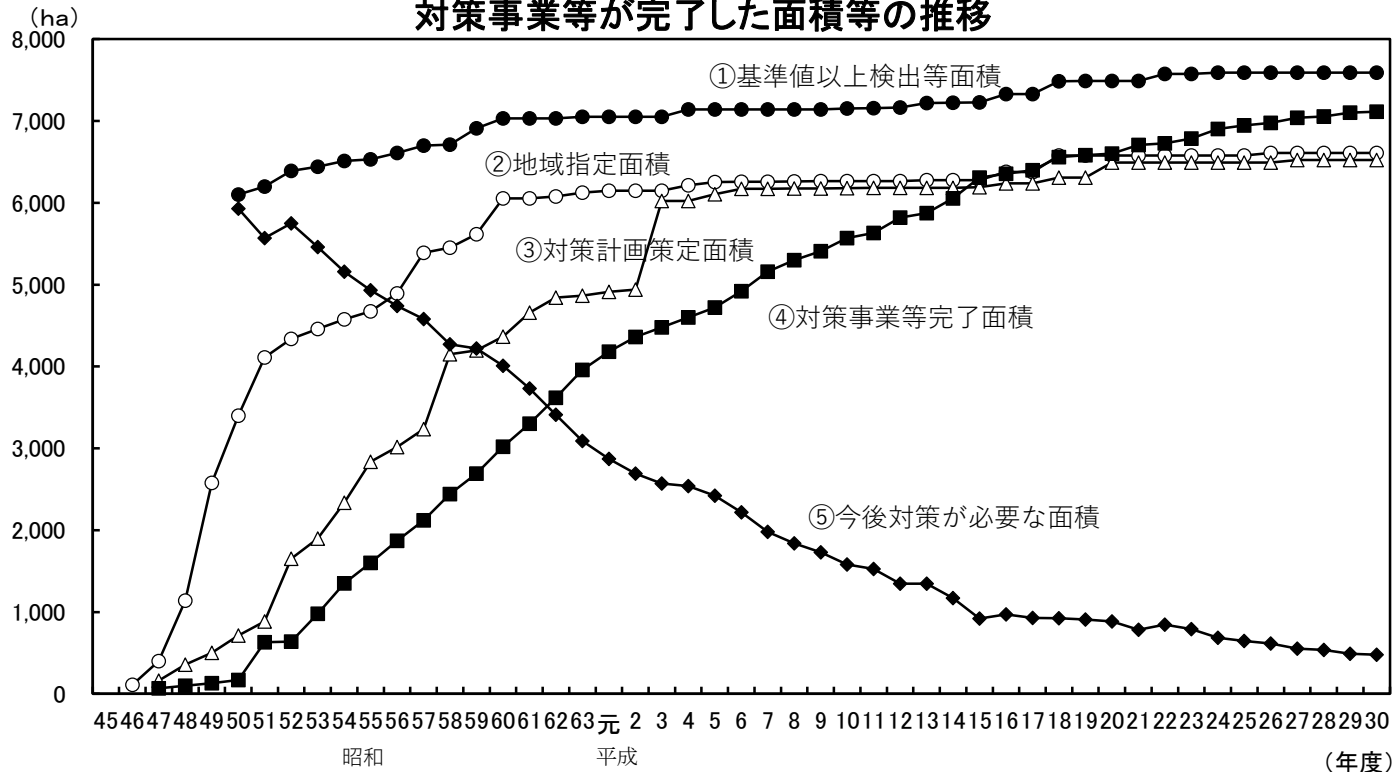
※グラフ内データは平成30年度のもの

※『平成30年度ダイオキシン類に係る環境調査結果』参照

# 農用地土壌汚染の状況

- カドミウム、銅及び砒素による土壌汚染は減少傾向にあり、それらが基準値を超えて検出された、又はそのおそれが著しい地域（「基準値以上検出等地域」）の累計面積7592haのうち、93.7%にあたる7111haで既に対策事業が完了している
- 農用地土壌汚染防止法に基づいて指定された対策地域の中には、まだ一部に公害防止対策事業を行っている地域もある（福岡県大牟田地域及び秋田県鹿角第二地区）

農用地土壌汚染防止法に指定された地域面積、  
対策事業等が完了した面積等の推移



※ 『平成30年度農用地土壌汚染防止法の施行状況』 参照